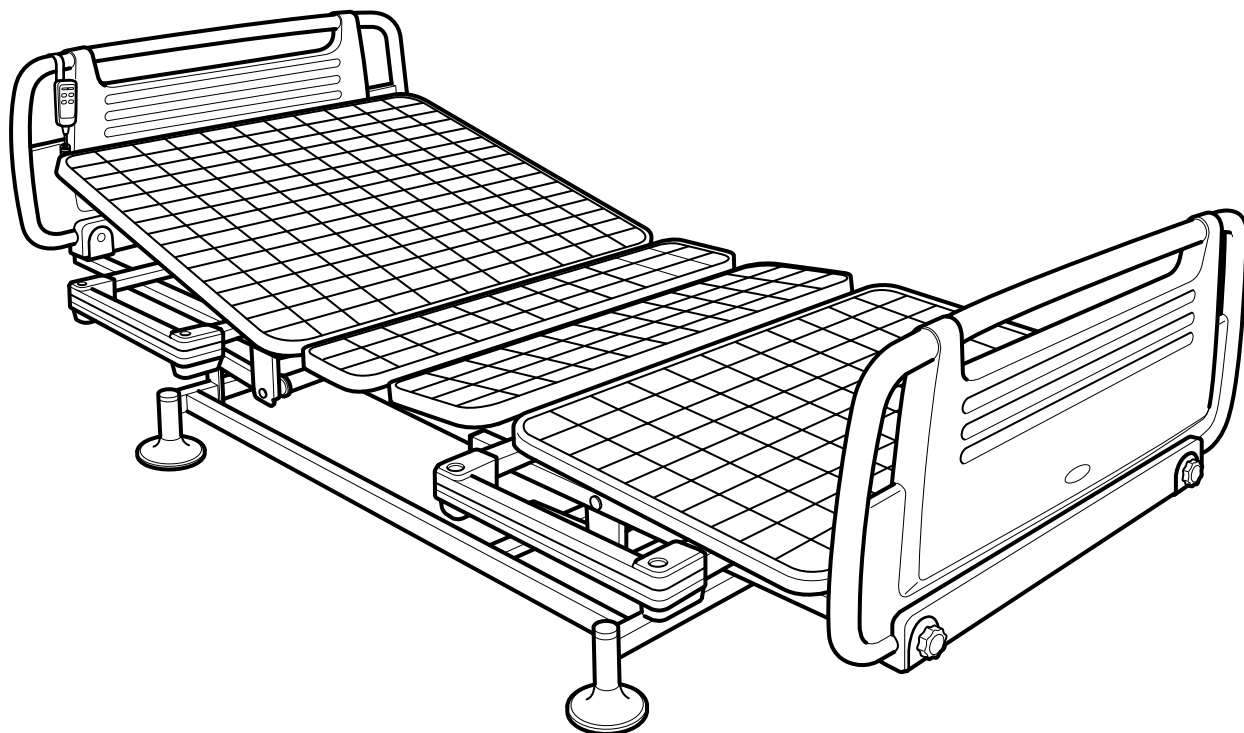


KÉPROCORE®

ケプロコア-820R/830

取扱説明書



このたびは、ケプロコア-820R/830をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書には、ベッドを安全にお使いいただくための注意事項、組立、分解の方法や使用方法などを記入しています。

- ベッドをお使いになる前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。
- ベッドで療養される方だけでなく、介護する方もこの取扱説明書をお読みください。
- この取扱説明書はお読みになったあとも、いつでも見られる場所に保管してください。

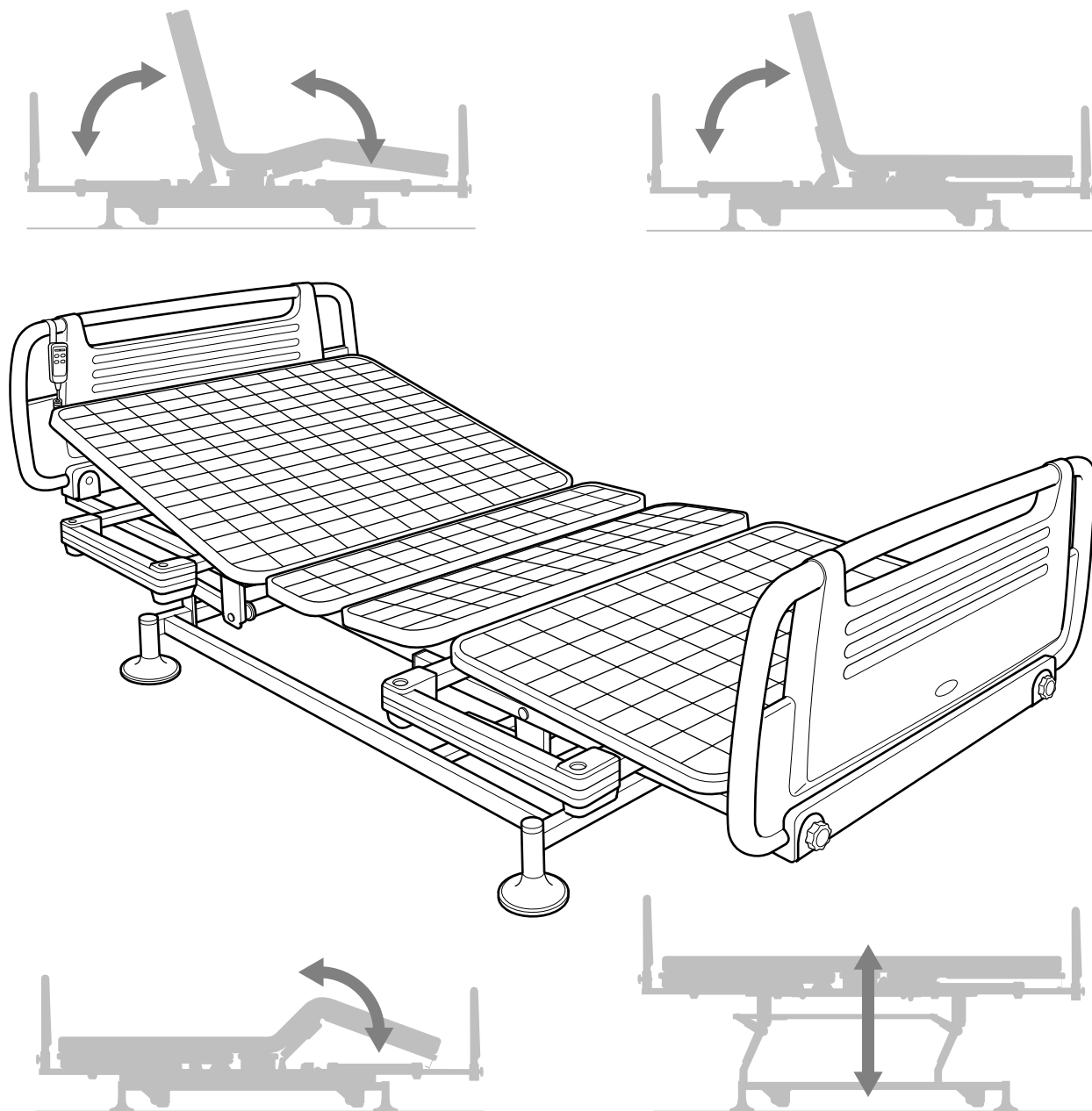
販売店、レンタル業者の方へのお願い

この取扱説明書は、必ず療養される方が介護される方へお渡しください。

シーホネンズ株式会社

このベッドの使用目的

『ケプロコア-820R/830』ベッドは、ご家庭での介護を行うことを目的として作られたベッドです。



ベッドの特長

- 1.業界初のローアンドワイド。
28cmの超低床高と、90cmのワイドマットレス幅（シングルサイズ時）。
- 2.人間工学に基づいたナチュラルラインを採用しています。
- 3.座位の圧迫を最小限にするバックレストエクステンション方式を採用しています。
- 4.ボタン操作でベッドポジションを自在にコントロールできます。
- 5.ヨーロッパで開発された、高性能介護用モーターシステムを採用しています。
- 6.抗菌塗装で安全・衛生的。防塵防水規格で水や洗剤での清拭にも安心です。

はじめに

必ずお読みください

安全にお使いいただくために	4~7
●表示と絵表示について	4
●警告ラベルについて	4
●ヘッドボード・フットボードについて	5
●電源について	5
●組み立てについて	6
●操作（動作時）について	6~7
主要部のなまえとはたらき	8~9

とにかく

使ってみる

操作（動作）のしかた	10~13
●手元スイッチについて	10
●2モーターの操作のしかた	11~12
・背上げ膝連動について	11
・たかさ調節について	11
・背上げ膝連動切り替え操作について	12
●3モーターの操作のしかた	13
・背上げについて	13
・膝上げについて	13
・たかさ調節について	13

正しい

設置と組み立て

設置について	14
●設置場所について	14
開梱と部品の確認	14~15
●組み立てる前に	14~15
ベッドの組み立てかた	16~26
1. 脚座を取り付ける	16
2. マザーユニットを取り付ける	16
3. モーターを取り付ける	17
4. ベッドの動作を確認する	18
5. 座ボトムを取り付ける	19
6. 背ボトムを取り付ける	20
7. フロントフレームを取り付ける	21
8. 膝ボトム・脚ボトムを取り付ける	22
9. リアフレームを取り付ける	23
10. マットレス止めを取り付ける	24
11. ヘッドボード・フットボードを取り付ける	25~26
組み立て後の点検	27
マットレスの使用方法	28
オプションの取り付けかた	29~30
●サイドレールを取り付ける	29
●キャスター（K-125）を取り付ける	30
緊急時の背下げの操作	31
後付けモーターセット（オプション）の取り付けかた	32~35
1. 背上げ膝連動切り替えユニットを取り外す	32~33
2. 電源ボックスのコードを取り外す	34
3. 膝上げモーターを取り付ける	34
4. 電源ボックスへコードを取り付ける	35

もし

必要なとき

日常のお手入れ	36
故障かな？と思ったら	36
保管と移動	37
仕様	38
保証書	39

安全にお使いいただくために

●必ずお読みください

必ずご使用前に『安全にお使いいただくために』をよくお読みになり正しくお使いください。製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や、損害を未然に防止するためのものです。

●表示と絵表示について

説明書の内容を無視し、誤った使い方をしたときに生じる危険や損害の程度を下の表示（絵表示と用語）で区分し、説明しています。



この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が生命にかかわるケガ、もしくは重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性、及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。



△記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図記号の中に具体的な注意内容（左の図の場合には『感電注意』）が描かれています。



記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図記号の中に具体的な禁止内容（左の図の場合には『分解禁止』）が描かれています。

ベッド組立前、操作時には、下記の項目の「警告」および「禁止」を必ずお読みください。

注) 表記中の (p0) は参照先ページを示しています。

- 警告ラベルについて (p4)
- ヘッドボード・フットボードについて (p5)
- 電源について (p5)
- 組み立てについて (p6)
- 操作（動作時）について (p6~p7)

●警告ラベルについて

●警告ラベルをはがさない

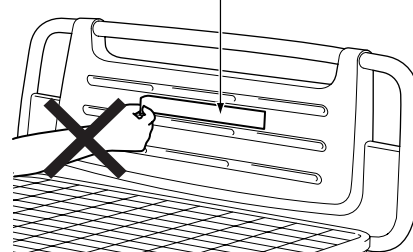


事故、破損の原因となります。

ベッドをお使いの方に対して、特に注意していただきたいことをラベルにして、フットボードの内側に貼っています。

警告ラベルをはがしたり傷をつけたりしないでください。

フットボード 警告ラベル



●ヘッドボード・フットボードについて

●ボードに荷重がかかるリハビリなどはしない

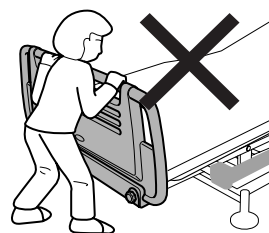


警告

事故、破損の原因となります。

プラスチックボードは、身体をよりかけたり、腰をかけたとしても割れにくい柔らかい材質でできていますが、荷重がかかるリハビリなどを行うと大変危険です。

絶対にしないでください。



●電源について

●分解、改造はしない



分解禁止

事故、破損の原因となります。

弊社指定の修理技術者以外の方は、手元スイッチや電源ボックスなどを分解したり改造、修理は絶対にしないでください。



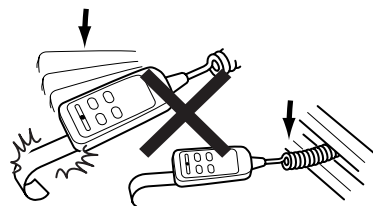
●コードを傷つけない



警告

事故、破損の原因となります。

手元スイッチを落としたり、手元スイッチのコードや電源コードを強く引っ張ったり、ベッドを操作するときにコードを挟まないようにしてください。



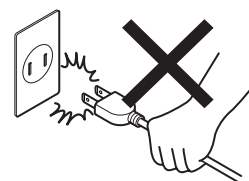
●電源コードを持って抜かない



感電注意

故障、感電の原因となります。

電源プラグを抜くときには、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って、引き抜いてください。また、濡れた手で電源プラグを抜き差ししないください。



●手元スイッチに水やジュースをこぼさない

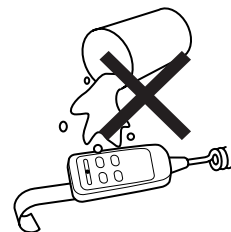


感電注意

感電、事故、破損の原因となります。

手元スイッチは防水仕様ですが、むやみに水やジュースをこぼさないでください。

万一、液体がかかってしまった場合には、必ず電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。



安全にお使いいただくために

●組み立てについて

●手や指を挟まない



注意

事故、ケガの原因となります。

手や指を挟まないように十分注意して組み立ててください。

※脚座を取り付けるとき (p16)

※マザーユニットを取り付けるとき (p16)

※座ボトムを取り付けるとき (p19)

※背ボトムを取り付けるとき (p20)

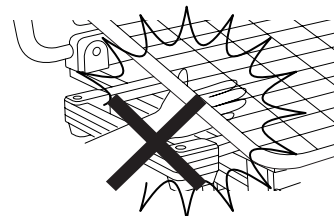
※フロントフレームを取り付けるとき (p21)

※膝ボトム・脚ボトムを取り付けるとき (p22)

※リアフレームを取り付けるとき (p23)

※ヘッドボード・フットボードを取り付けるとき (p25~26)

※オプションを取り付けるとき (p29~p30)



●他社製品とは組み合わさない

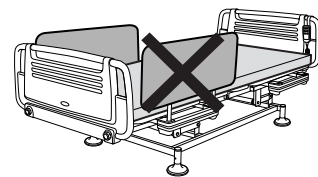


注意

事故、破損の原因となります。

マットレス、サイドレール、キャスターなどは他社製品を使わないでください。

必ず弊社適合商品をお使いください。(p28~p30)



●操作（動作時）について

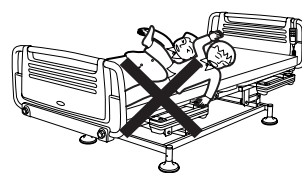
●ベッドを二人以上で使用しない



注意

事故、破損の原因となります。

このベッドの最大使用者体重は120kgです。



●うつ伏せで背上げ操作をしない



警告

うつ伏せで寝た状態での背上げ操作は関節を逆さに曲げることになり、ケガの原因となります。



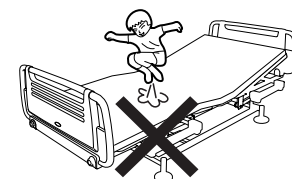
●踏み台代わりにしたり、ベッドの上で飛び跳ねない



警告

ベッドから転落、転倒してケガの原因となります。

特にお子さまにご注意ください。

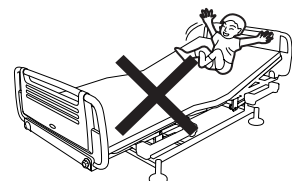


●上がっている背ボトムや脚ボトムに乗らない



警告

事故、破損の原因となります。



●操作（動作時）について

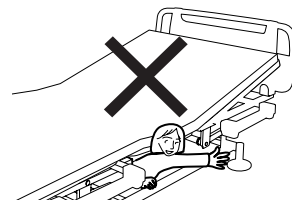
●ベッドの中やフレームの間にもぐり込まない



警告

ベッドの可動部分（ボトムなど）とフレームやサイドレールとの間に頭、腕や足を挟んでケガの原因となります。

ベッドの中にもぐり込んだり、ベッドの中に頭、腕や足などを入れないこと。ベッドの下や周りに障害物がないか確認して操作してください。

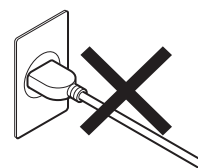


●誤動作による事故を防ぐために



注意

お子さまや操作が理解できないと思われる方がおひとりで手元スイッチにふれる可能性がある場合（介助する方の外出時など）には、電源プラグをその都度抜いて誤操作による事故を未然に防いでください。



●手や足などを挟まれないように

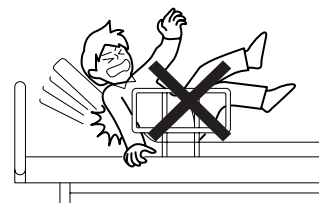


警告

手や足を挟んでケガをします。

ベッドの操作時には、頭や腕、足をベッドの外に出して周辺の家具や他の福祉用具などに挟まれたりしないように十分注意してください。

特にベッド操作中は、ベッドフレーム、ボトムの下に手や足を入れないでください。



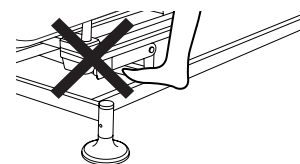
●足先をベースフレームの下に置かない



警告

足先を挟んでケガの原因となります。

ベースフレームの上に足をかけたり、足先をベースフレームの下に置いたりしないでください。



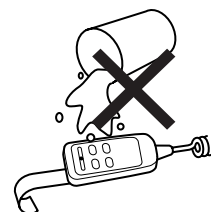
●手元スイッチを水などでぬらさない



感電注意

感電、事故、破損の原因となります。

誤って液体がかかってしまった場合には、必ず電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。



●治療中の方は医師に相談してください



警告

現在治療中の方は、ベッドの背上げや脚上げ操作によって症状を悪化させる可能性があります。

ベッドを使用する際はかかりつけの医師にご相談ください。



主要部のなまえとはたらき

ヘッドボード

ノブボルトをゆるめて、上に持ち上げると外れます。
洗顔、洗髪のために便利です。(p25)

手元スイッチ

ベッドの高さ、ボトムを無段階で調節
できます。

上部についているフックで使いやすい場所
にかけて下さい。

※操作(動作)については、「手元スイッチ
について」(p10)を参照してください。

背ボトム

(p22)

座ボトム

(p22)

マットレス止め

(p24)

膝ボトム

(p22)

サイドレールホルダー穴

サイドレールを取り付けられます。
片側にそれぞれ4ヶ所あります。
(p29)

マザーユニット

(p16)

ハイローベースユニット

(p16)

電源ボックスと電源ランプ

座ボトムと膝ボトムの裏面にあります。
(p18)

電源ランプ

電源ボックス

脚座

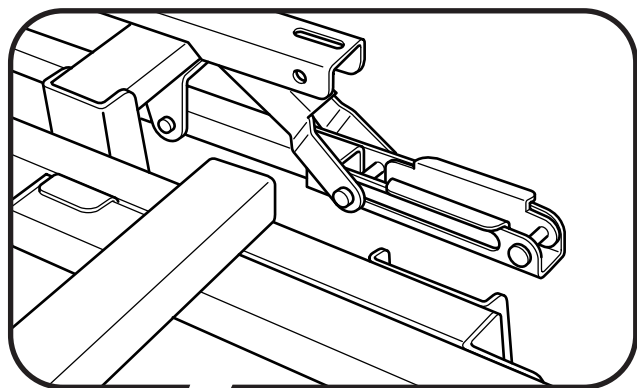
左右に4ヶ所あります。
(p16)

背上げ膝連動切り替えレバー

背ボトムのみと、背ボトムと膝ボトムが連動して動く膝連動の2種類選べます。

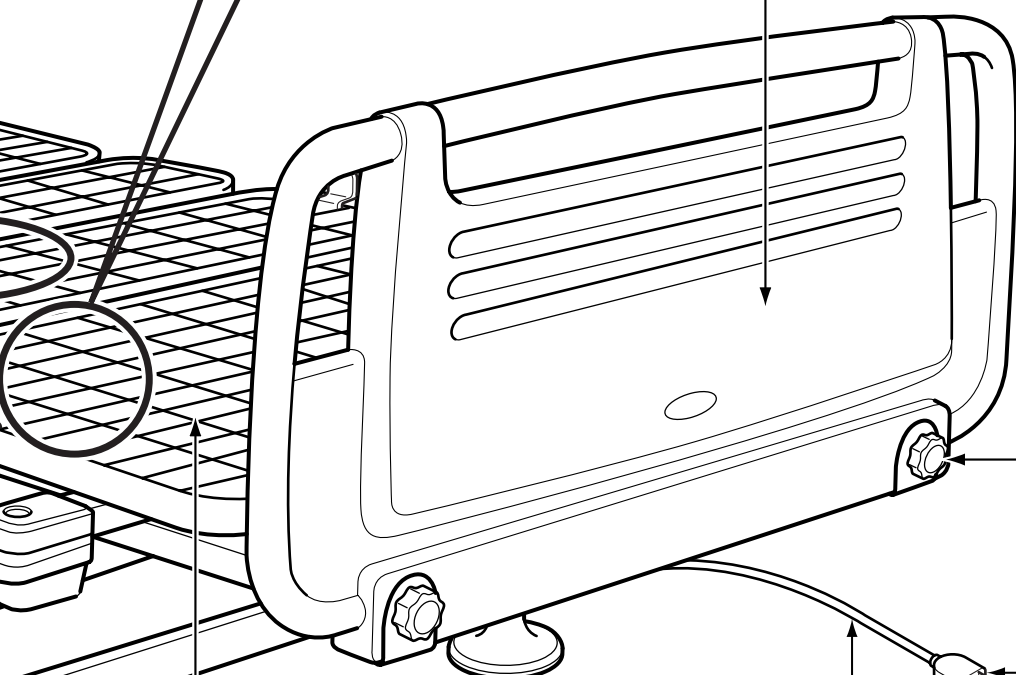
(p12)

※2モーターのみ



フットボード

ノブボルトをゆるめて、上に持ち上げると外れます。足の処置などに便利です。(p25)



ノブボルト

ヘッド、フットボード左右2ヶ所
(p16)

電源プラグ

(p18)

電源コード

(p18)

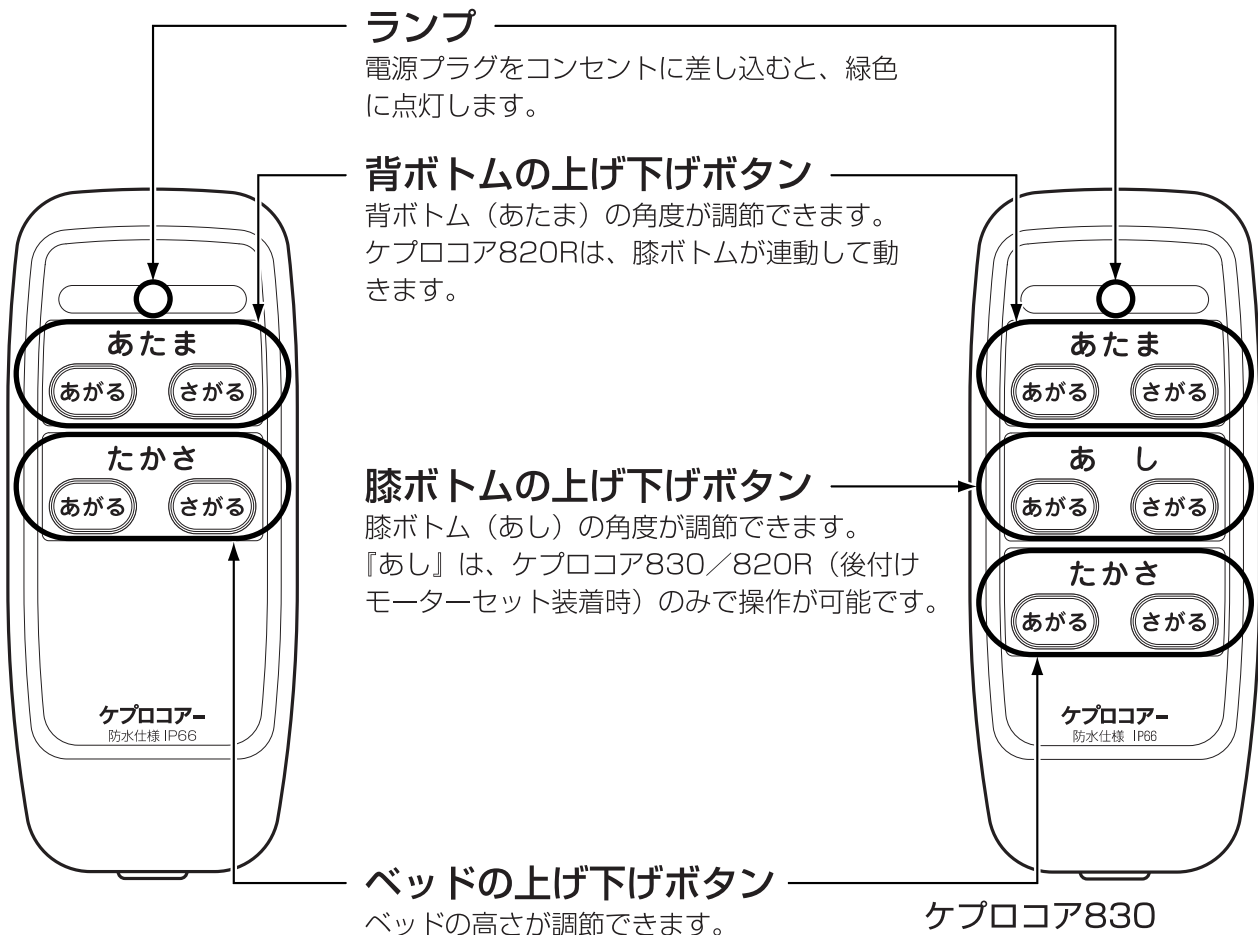
脚ボトム

(p22)

操作（動作）のしかた

●手元スイッチについて

ベッドを操作する前に電源プラグをコンセントに差し込んでください。



ケプロコア820R（2モーター）

ポイント

- 手元スイッチを押しても下記のような症状が起きたら、『故障かな？と思ったら』（p36）を参照して点検してください。
 - *ランプが点灯しない。
 - *ベッドが動かない！。それでも直らない場合は、販売店にご連絡ください。
- モーターの連続使用時間は6分までです。6分以上の連続使用は行わないでください。次に使用する場合は十分に時間をおいて使用してください。

お願い

- お子さまや操作が理解できないと思われる方がひとりで手元スイッチにふれる可能性がある場合（介護する方の外出時など）には、電源プラグをその都度抜いて誤操作による事故を未然に防いでください。
- 手元スイッチは防水仕様ですが、むやみに水やジュースをこぼすと、感電、事故、破損の原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には、必ず電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

●2モーターの操作のしかた

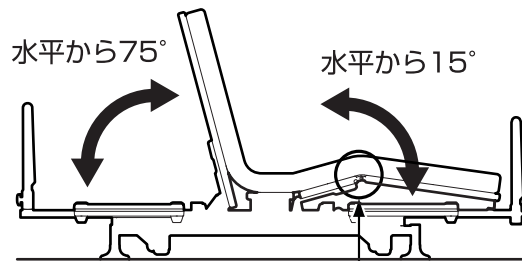
手元スイッチのボタンでベッドの背ボトム、ベッドの高さを無段階に調節できます。ボタンを押すと動き、離すとその位置で止まります。

必要な位置まで動かしてお使いください。

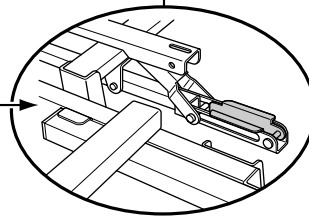
*別売りモーターを装着することで3モーターにすることができ、膝ボトムを個別に動かすことができますようになります。

●背上げ膝連動について

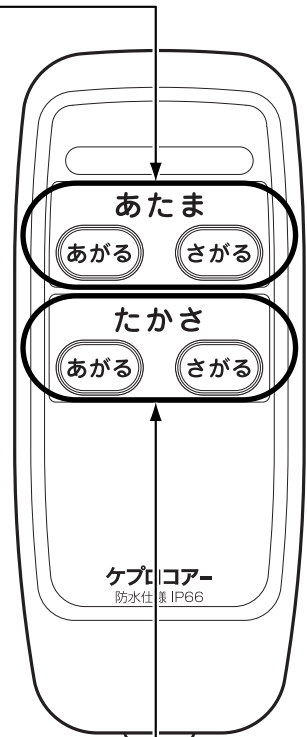
- ベッドから起き上がる時
- ベッドでの読書やテレビ鑑賞に便利



背上げ膝連動切替レバーにより背上げのみと連動の切り替えができます。(p12)

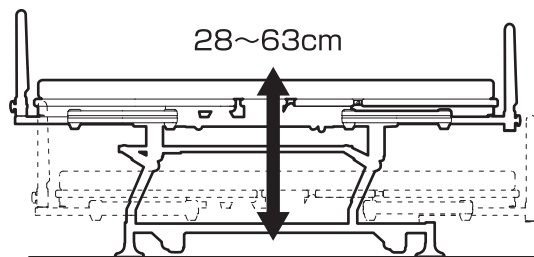


- 背ボトムと膝ボトムが連動し、背ボトム75度、膝ボトム15度まで上がります。
- 2モーターは、膝ボトムだけの角度調節はできません。



●たかさ調節について

- 乗り降りのときに高さを調節
- サポートしやすい高さに調節するときに便利
- 腰に負担をかけない



- ベッドの高さを調節できます。ゆかからボトムまでの高さを28cm～63cm間で調節できます。



ベッドに乗り降りする場合は乗り降りしやすい高さにベッドを調節し、座ボトムに腰かけてから行ってください。

他のボトムから乗り降りすると、ケガや故障のおそれがあります。特に背ボトム、脚ボトムだけに荷重をかけると大変危険です。

操作（動作）のしかた

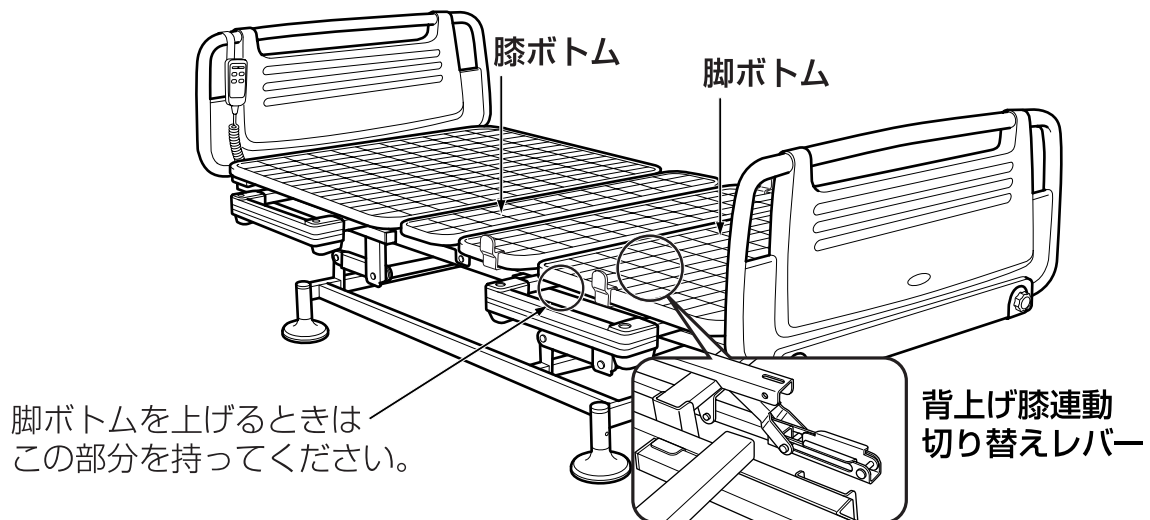
●2モーターの操作のしかた

●背上げ膝連動切替え操作について

ケプロコア-820R（2モーター）は背上げ膝連動切り替え操作ができ、次のような特長があります。療養されている方の状態にあわせて使い分けてください。

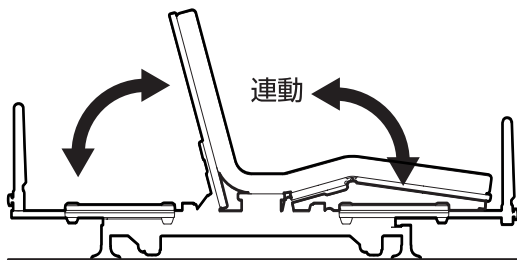
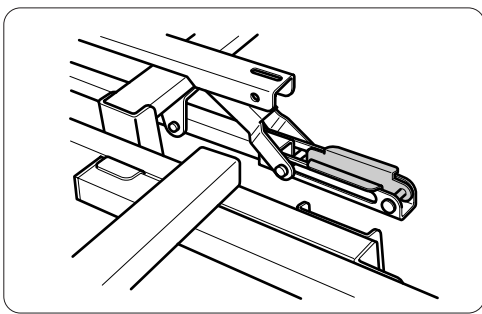
※療養されている方がベッドに乗っている状態でも操作できます。

※連動操作で膝ボトムが上がっている状態でも切り替えができます。



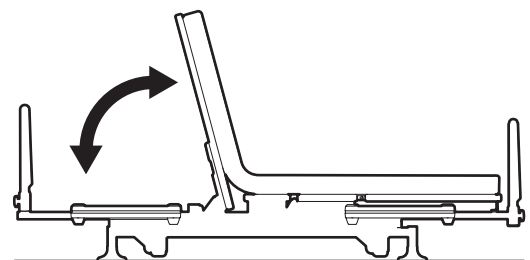
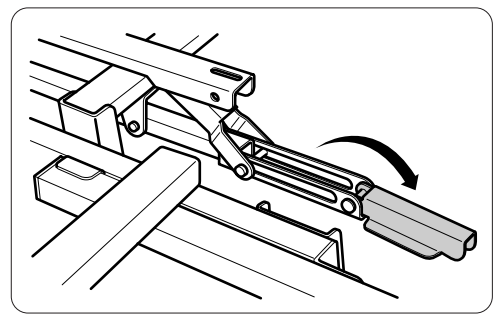
背上げ膝連動状態

- 1 脚ボトムを持ち上げる
- 2 レバーが図のような位置にあると膝連動状態になる



背上げ膝連動解除状態

- 1 脚ボトムを持ち上げる
- 2 レバーを上げると連動が解除され、背上げのみの操作になる



警告

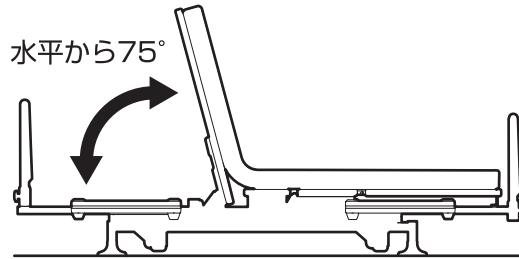
- 背上げ膝連動切替えレバーの操作は、必ず手で行ってください。
- ボトムとフレームの間で手を挟まないよう注意してください。

●3モーターの操作のしかた

手元スイッチのボタンでベッドの背ボトム、膝ボトム、ベッドの高さを無段階に調節できます。ボタンを押すと動き、離すとその位置で止まります。必要な位置まで動かしてお使いください。（3モーターでは背上げ膝連動操作はできません。）

●背上げについて

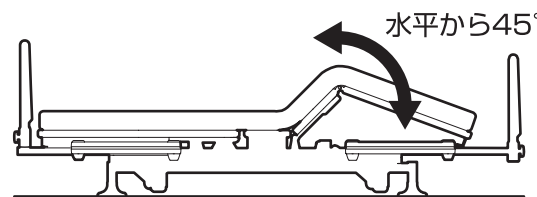
- ベッドから起き上がる時
- ベッドでの読書やテレビ鑑賞に便利



- 背ボトムの角度を調節できます。背ボトムは、水平から最大75度まで調節できます。

●膝上げについて

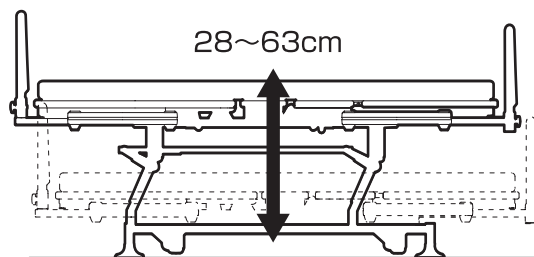
- 背上げを行う場合に便利
- からだに負担をかけない



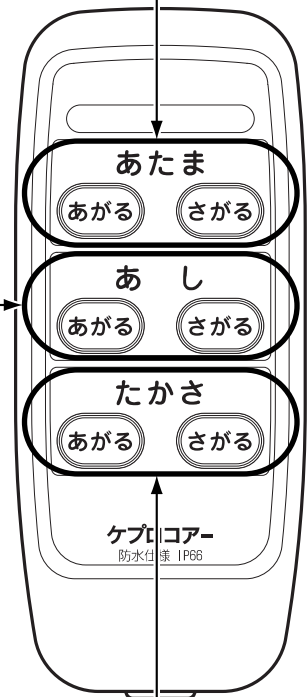
- 膝ボトムの角度を調節できます。膝ボトムは、水平から最大45度まで調節できます。
*背上げを行う場合、先に膝ボトムを上げておくとからだのずれが少なくなります。
*からだに負担がかからないように調節します。

●たかさ調節について

- 乗り降りのときに高さを調節
- サポートしやすい高さに調節するときに便利
- 腰に負担をかけない



- ベッドの高さを調節できます。ゆかからボトムまでの高さを28cm~63cm間で調節できます。



ベッドに乗り降りする場合は乗り降りしやすい高さにベッドを調節し、座ボトムに腰かけてから行ってください。他のボトムから乗り降りすると、ケガや故障のおそれがあります。特に背ボトム、脚ボトムだけに荷重をかけると大変危険です。

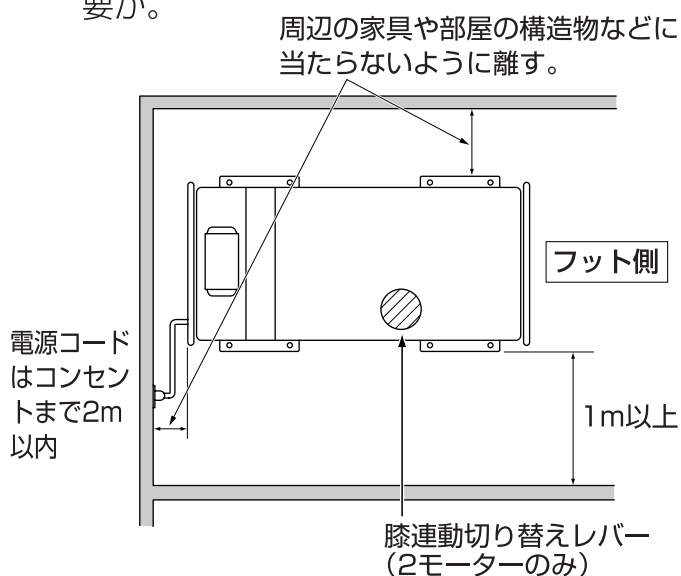
●設置場所について

ベッドを設置する際は、以下の条件を考慮してください。

●設置スペースを確保する

次のことを考慮したうえで、下図を参考に設置します。

1. 療養されている方がベッドの左右どちら側から乗り降りがしやすいか。
2. 介助をするためのスペースがどれだけ必要か。



●水平で丈夫なゆかを選ぶ

ベッドの重量は約67.5kg（ケプロコア-830/820R後付けモーターセット装着時）です。

ベッドの重量と療養される方、オプション製品、寝具などもふくめた重量が使用時の静荷重となります。この荷重に十分たえられるゆかの強度を確保してください。

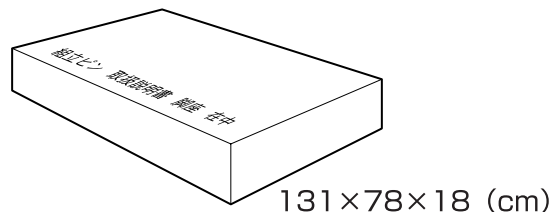
その他のお願い

- 電源プラグが抜き差ししやすいところにベッドを設置してください。
- 冷暖房の冷気や暖気が、直接ベッドに当たらないようにベッドを設置してください。
- ベッドの電源は直接コンセントからとってください。延長コードやテーブルタップなどを使用すると火災の原因になります。
- ベッドは電動で動きます。高さ方向はベッドが動くにつれて増していくことになるので、周辺の家具、部屋の構造物などに当たらないようにしてください。

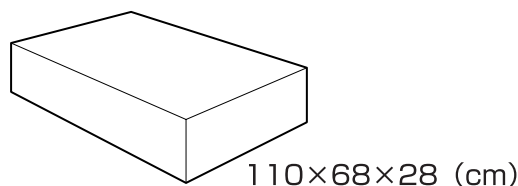
●組み立てる前に

(マザーユニット以外は2モーター/3モーター用共通です。)

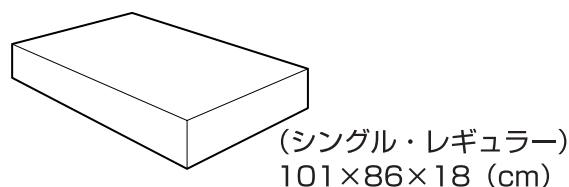
●ハイローベースユニット



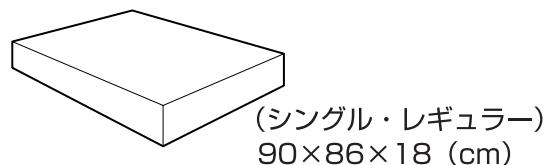
●マザーユニット



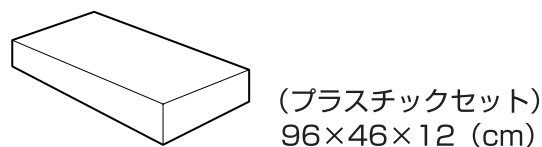
●フロント・リアフレーム、座ボトム



●ボトムユニット

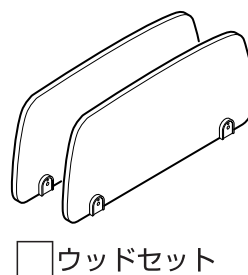
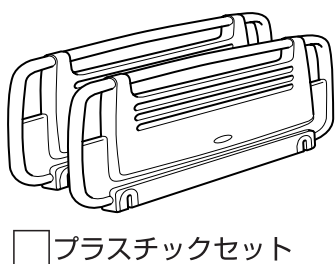
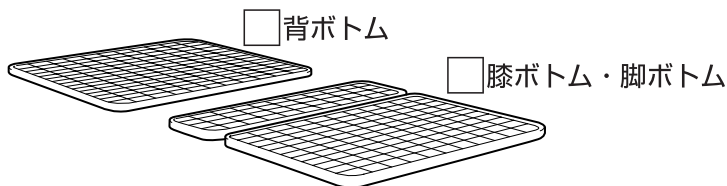
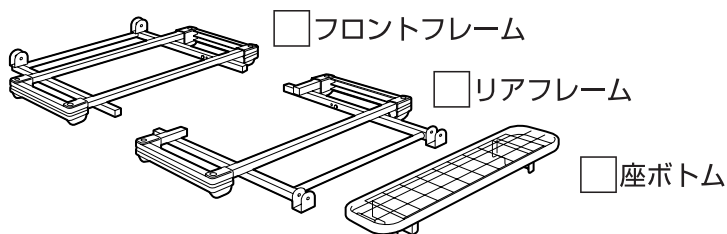
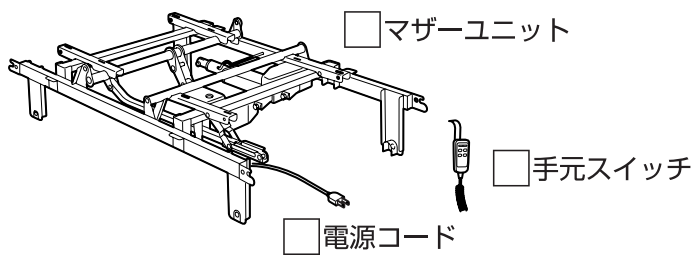
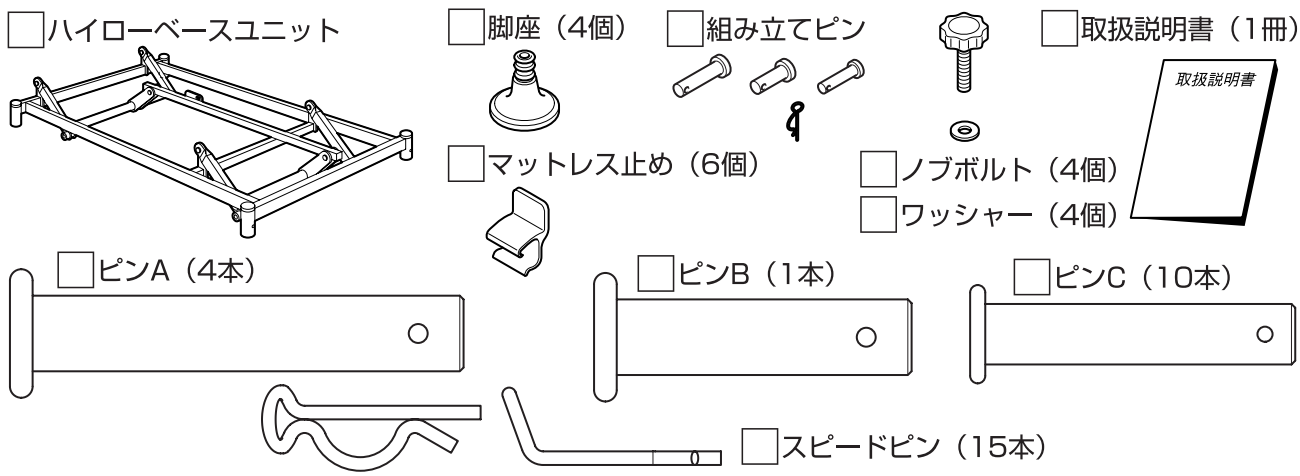


●ヘッドボード・フットボード



※ボードはプラスチックボードとウッドボードの2種類あります。詳しくはp25～p26を参照してください。

- 組み立てる前に、下記の部品などが全てそろっているかどうか確認してください。
- 不足している部品や、破損している部品がある場合は、販売店にご連絡ください。



ベッドの組み立てかた

ベッドを組み立てる前に、必ずベッドの配置を決めて、作業は、お二人でされることをお勧めします。2モーターと3モーターの組み立て方法は同じです。

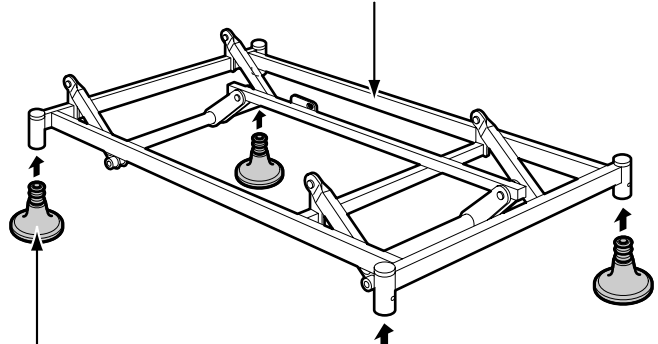
1. 脚座を取り付ける

※オプションで脚座をキャスターにすることもできます。
(p30)

お願い

事故、破損の原因となります。
脚座は、しっかりと脚パイプに差し込んでください。

① ハイローベースユニットを持ち上げる

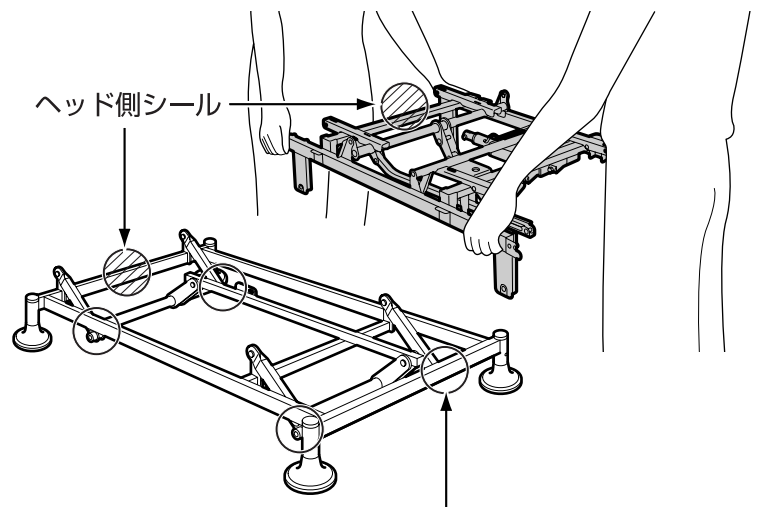


② 脚座を差し込む (4ヶ所)



2. マザーユニットを取り付ける

① ヘッド側シールが付いている方を合わせ持ち上げる



お願い

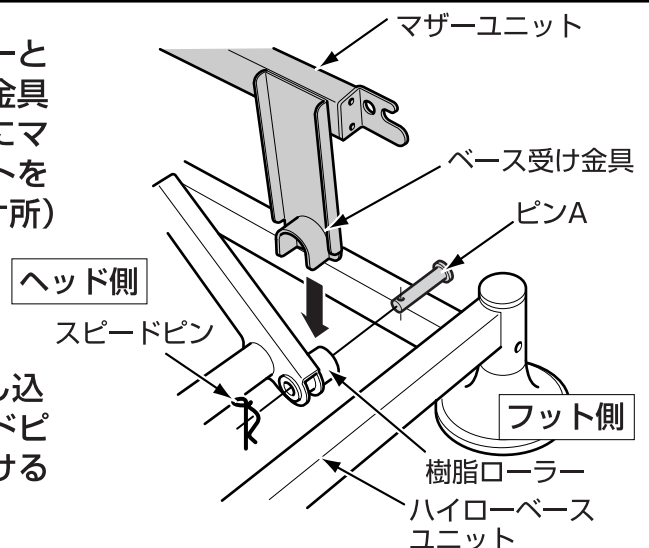
事故、破損の原因となります。

- マザーユニットのヘッド側シールとハイローベースユニットのヘッド側シールを合わせてください。
- ピンAとスピードピンはしっかりと差し込んでください。

事故、ケガの原因となります。

- 手、指づめに注意してください。

② 樹脂ローラーとベース受け金具が合うようにマザーユニットをのせる (4ヶ所)

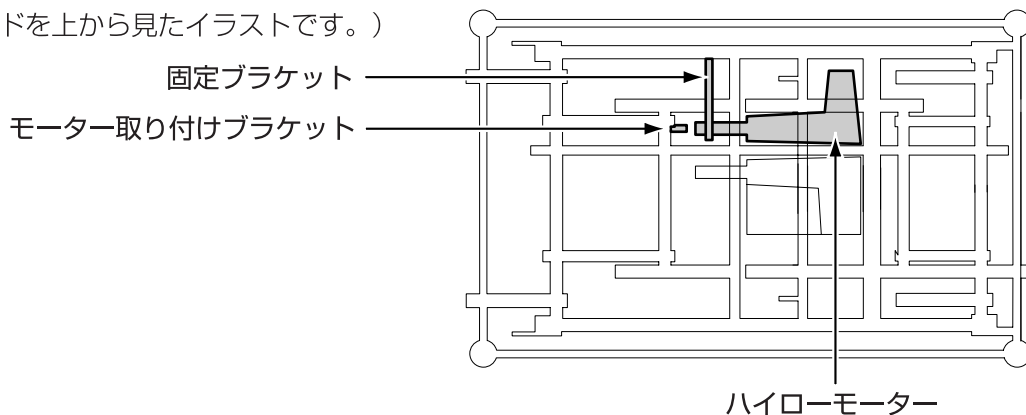


③ ピンAを差し込み、スピードピンで取り付ける (4ヶ所)

3. モーターを取り付ける

●位置関係図

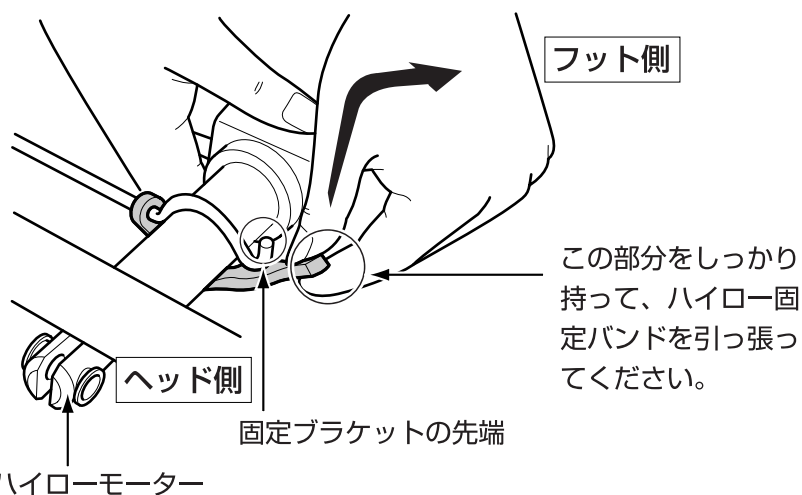
(ベッドを上から見たイラストです。)



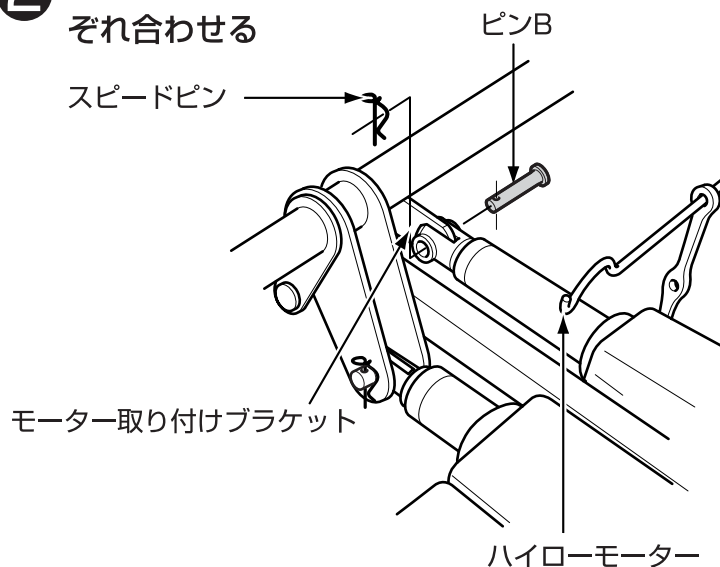
お願い

事故、破損の原因となります。
ハイローモーターが脱落しないよう必ずハイローモーターを手で支えてください。

- 1 ハイロー固定バンドを矢印方向に引っ張って、固定ブラケットの先端から外す



- 2 モーター取り付けブラケットとモーター先端の穴をそれぞれ合わせる



- 3 ピンBを差し込み、スピードピンを取り付ける (上図参照)

ベッドの組み立てかた

4.ベッドの動作を確認する

お願い

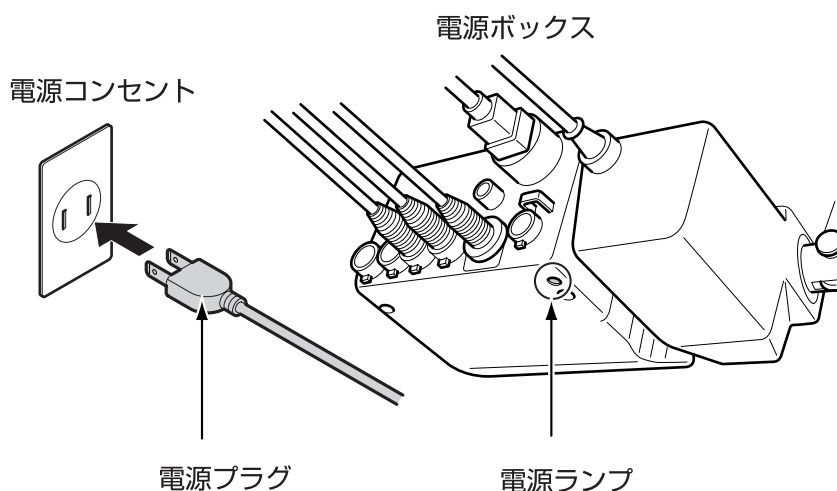
事故、破損の原因となります。
2モーターは、安全のため、背上げ膝連動にて、上げておいてください。

ポイント

あたま、あし（後付けモーターセット装着時、830のみ）、たかさは、十分上げた状態にしておくと、組み立てやすくなります。

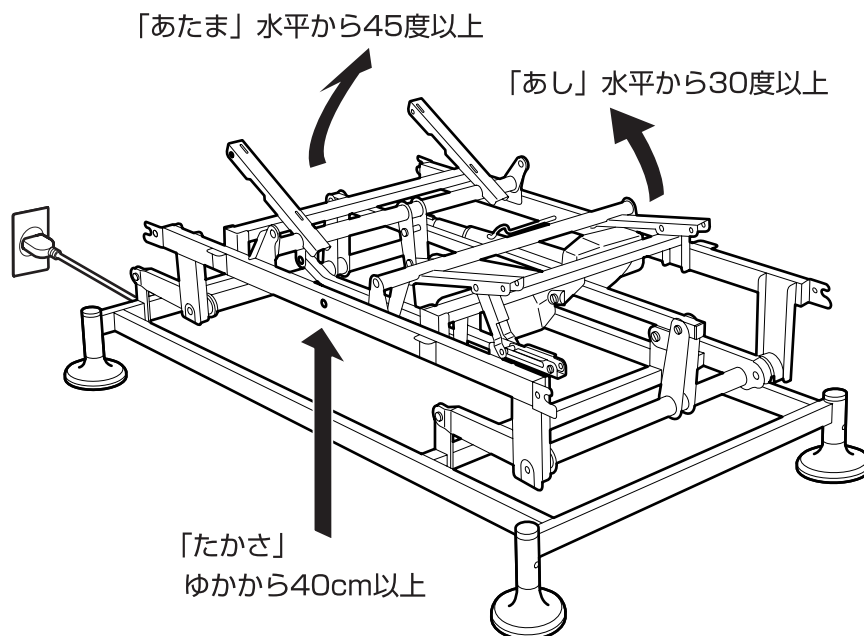
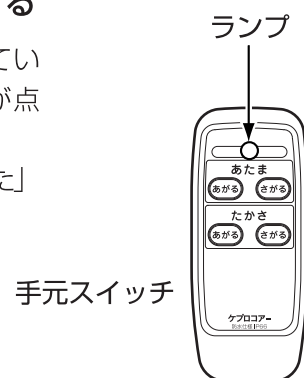
① 電源プラグをコンセントに差し込む

※電源ボックスの電源ランプが点灯します。
（電源ボックスは、座ボトムと膝ボトムの裏面にあります。）



② 手元スイッチのボタンを「あたま」、「あし（後付けモーターセット装着時、830のみ）」、「たかさ」の順に押し、正常に動作するか確認する

※手元スイッチのボタンを押している間、手元スイッチのランプが点灯します。
詳しくは、「操作（動作）のしかた」（p10）を参照してください。



この時点で下記の項目を確認してください。

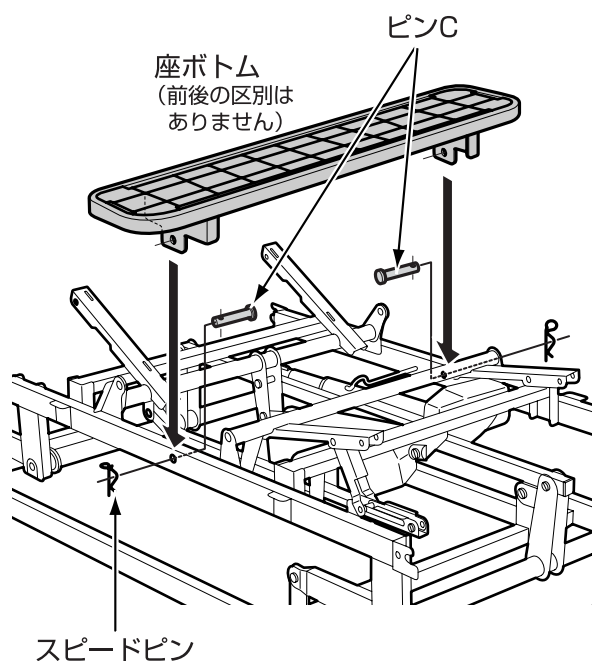
- 電源ボックスの電源ランプは点灯していますか？
- 手元スイッチの各種ボタンを押したとき、ランプは点灯していますか？
- マザーユニットおよびモーターを取り付けたときのピンとスピードピンは確実に差し込まれていますか？
- モーターから異常音がしていませんか？
- あたま、あし（後付けモーターセット装着時、830のみ）、たかさがスムーズに動作しますか？

以上の項目を確認して、異常がある場合は、もう一度「ベッドの組み立て方」を最初（p16）から見直してください。

それでも直らない場合は、組み立てをやめて、電源プラグをコンセントから抜き、販売店にご連絡ください。

5.座ボトムを取り付ける

- 1** 座ボトムの取り付け穴とマザーユニットの取り付け穴が合わさるように取り付ける



お願い

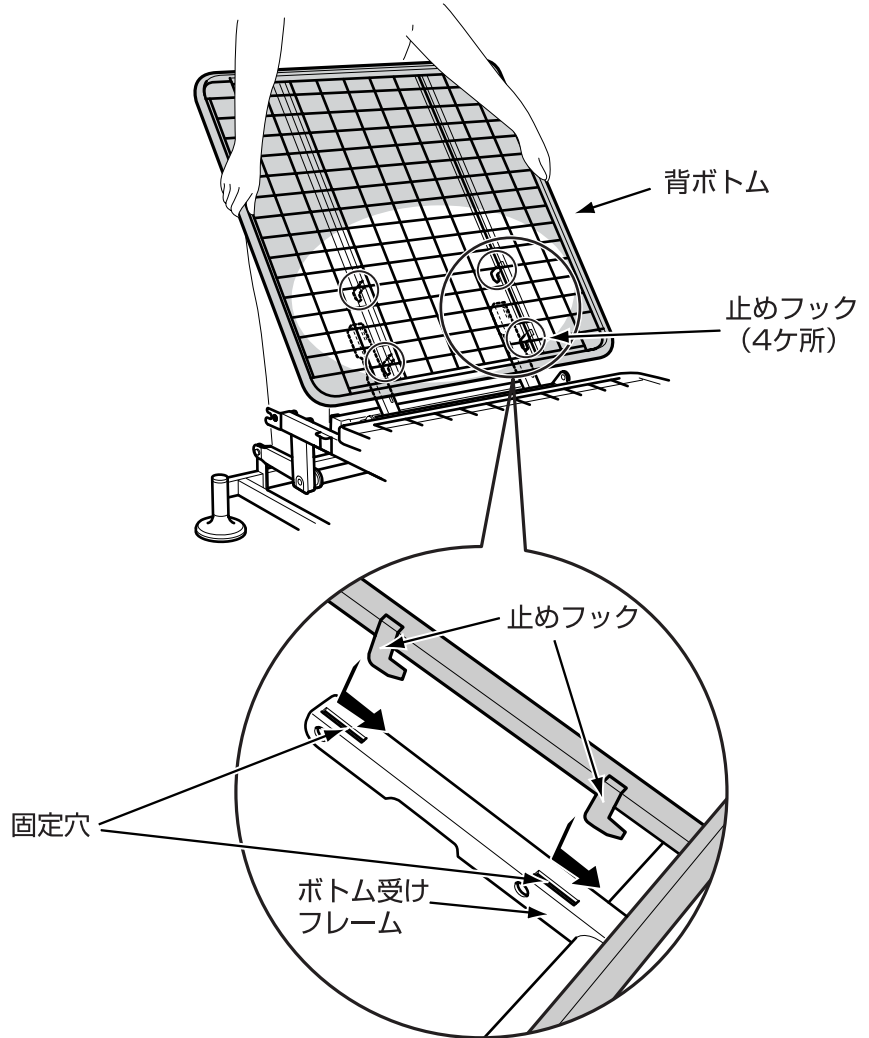
事故、破損の原因となります。
ピンCとスピードピンはしっかりと差し込んでください。

- 2** ピンCをマザーユニットの下から手を入れて内側から差し込み、スピードピンで取り付ける（左右2ヶ所）

ベッドの組み立てかた

6.背ボトムを取り付ける

① 背ボトムを図のように持つ

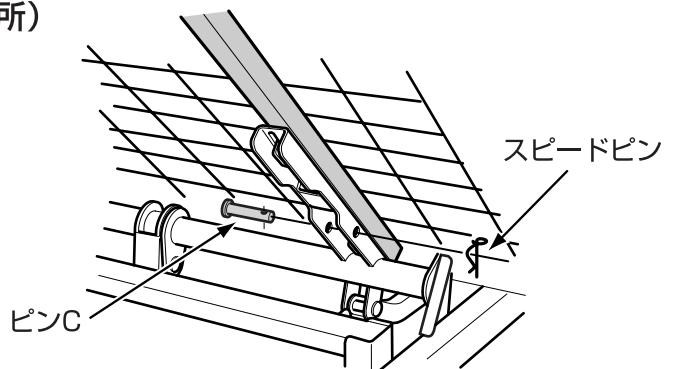


お願い

事故、破損の原因となります。
背ボトムの止めフックがボトム受けフレームの固定穴に確実に入っているか、必ず確認してください。

② 背ボトムの止めフックをボトム受けフレームの固定穴に合わせ、矢印の方向に背ボトム全体をスライドさせて差し込む (左右4ヶ所)

③ ボトム受け金具の穴に内側から外側に向けて、ピンCを内側から外に向けて差し込み、スピードピンを取り付ける (左右2ヶ所)



お願い

事故、破損の原因となります。
ピンCとスピードピンはしっかりと差し込んでください。

7. フロントフレームを取り付ける

お願い

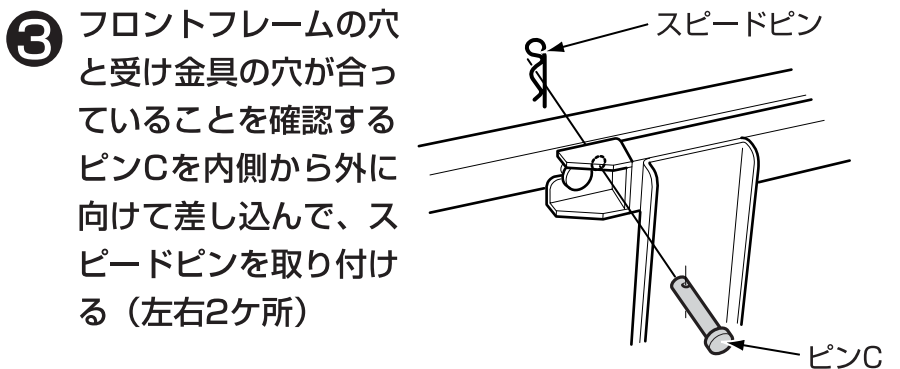
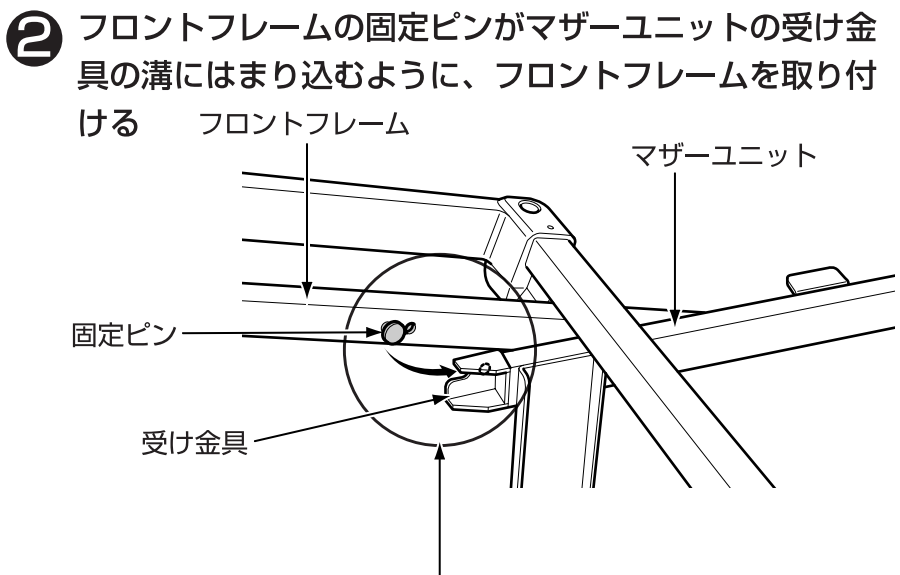
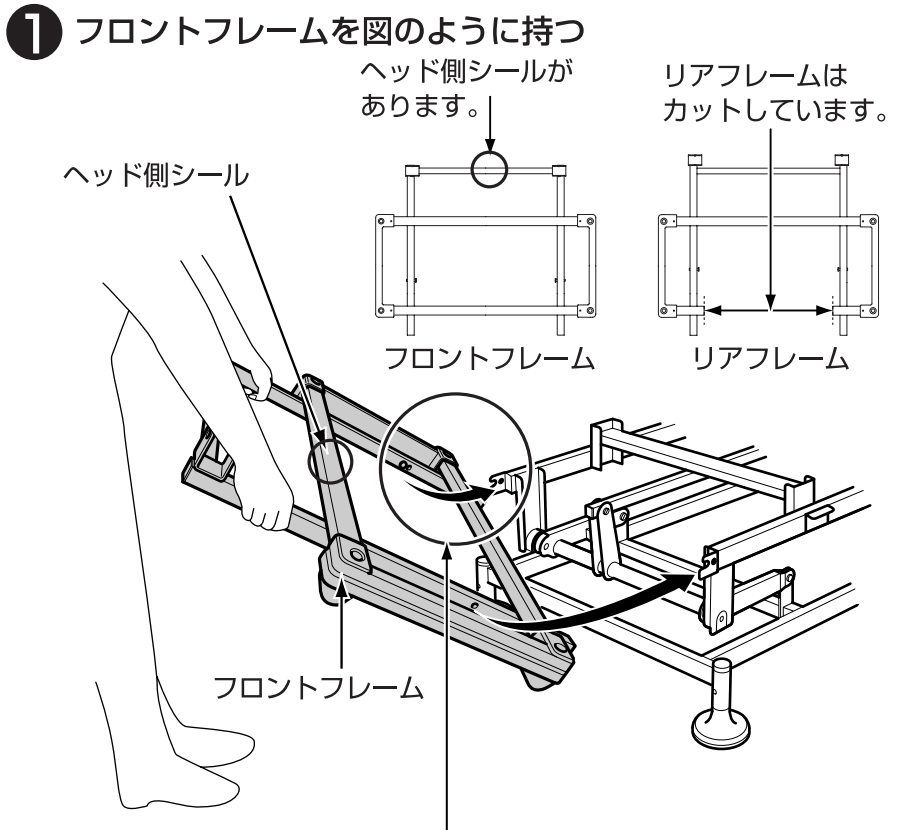
事故、破損の原因となります。
ヘッド側シールを必ず確認してください。

お願い

事故、破損の原因となります。
フロントフレームの固定ピンがマザーユニットの受け金具の溝にはまり込んでいるか、必ず確認してください。

お願い

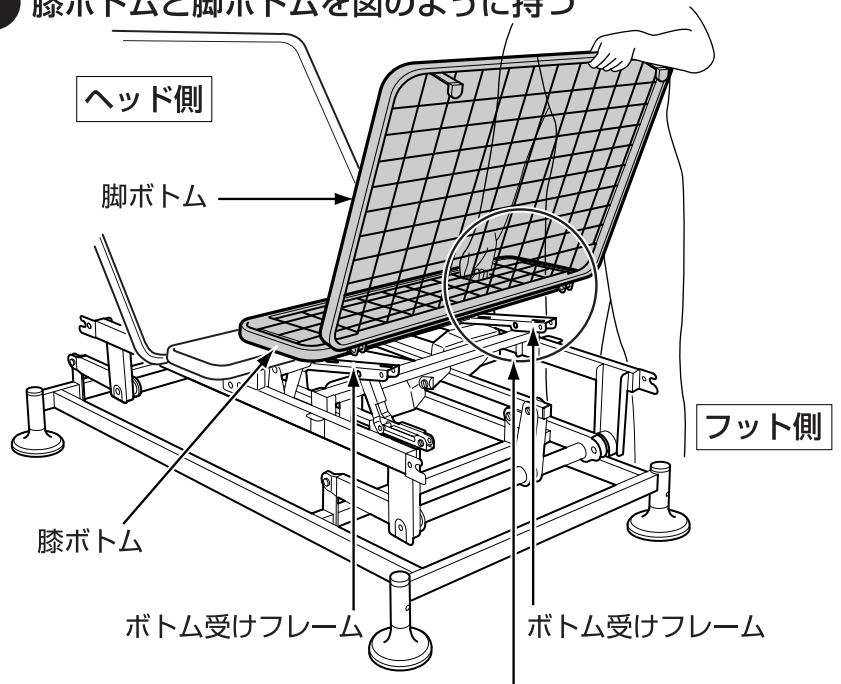
事故、破損の原因となります。
ピンCとスピードピンはしっかりと差し込んでください。



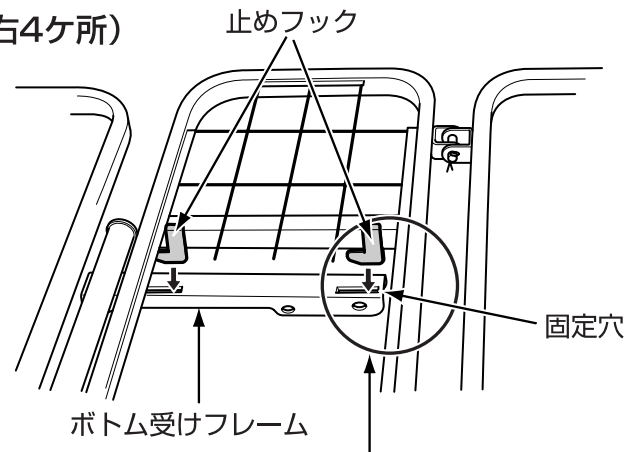
ベッドの組み立てかた

8. 膝ボトム・脚ボトムを取り付ける

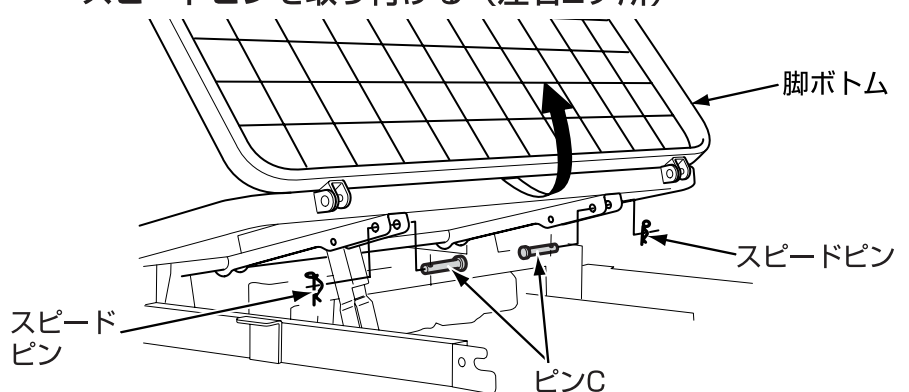
① 膝ボトムと脚ボトムを図のように持つ



② 膝ボトムの止めフックをボトム受けフレームの固定穴に合わせ、矢印の方向にボトム全体をスライドさせて差し込む (左右4ヶ所)



③ 脚ボトムを図のように押し上げて、ボトム受け金具の穴にピンCを内側から外に向けて差し込む
スピードピンを取り付ける (左右2ヶ所)



お願い

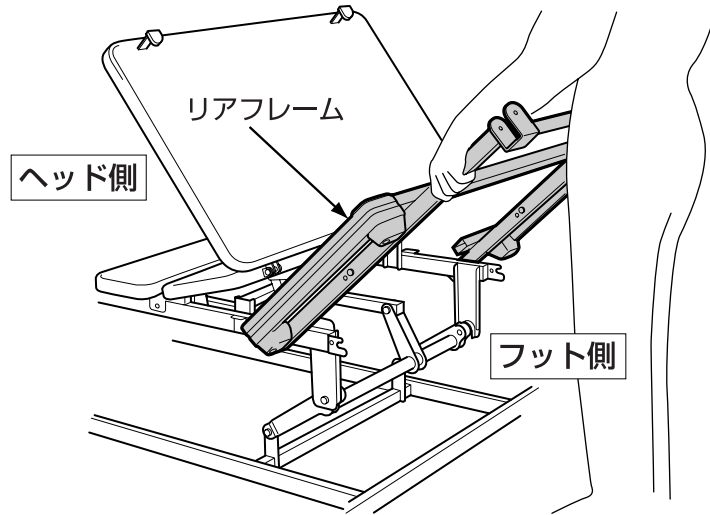
事故、破損の原因となります。
膝ボトムの止めフックがボトム受けフレームの固定穴に確実に入っているか、必ず確認してください。

お願い

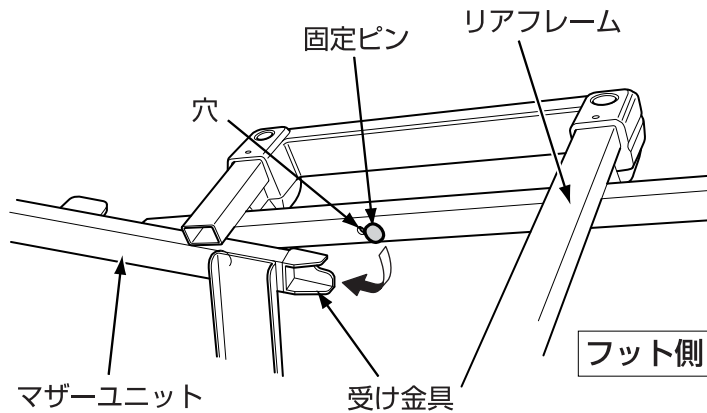
事故、破損の原因となります。
ピンCとスピードピンはしっかりと差し込んでください。

9.リアフレームを取り付ける

- ① リアフレームを図のように持つ



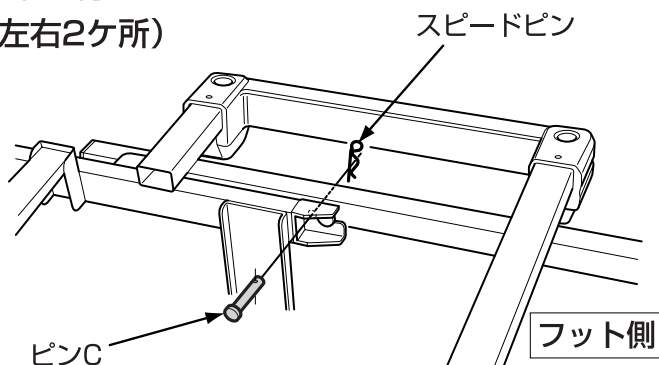
- ② リアフレームの固定ピンがマザーユニットの受け金具の溝にはまり込むように、リアフレームを取り付ける



お願い

事故、破損の原因となります。
リアフレームの固定ピンがマザーユニットの受け金具の溝にはまり込んでいるか必ず確認してください。

- ③ リアフレームの穴と受け金具の穴が合っていることを確認する
ピンCを内側から外に向けて差し込んで、スピードピンを取り付ける
(左右2ヶ所)



お願い

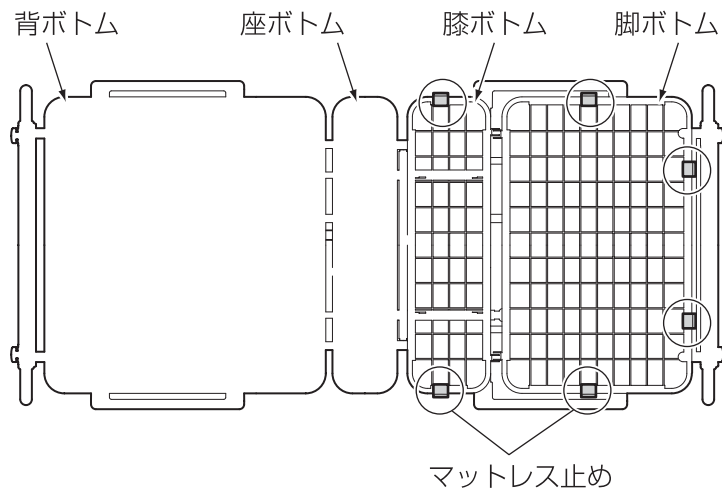
事故、破損の原因となります。
ピンCとスピードピンはしっかりと差し込んでください。

ベッドの組み立てかた

10. マットレス止めを取り付ける

ベッドをお使いになる方に合わせて取り付け位置を決めてください。

取り付け位置参考例

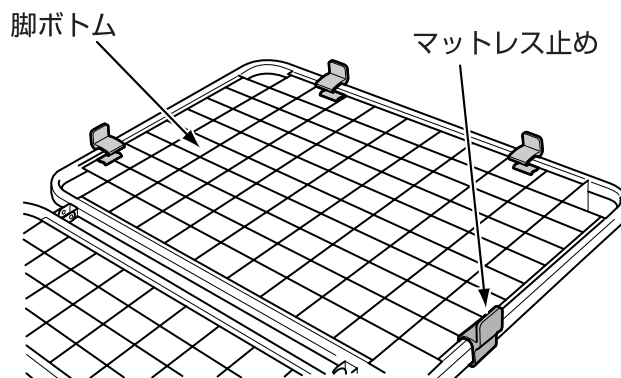


警告

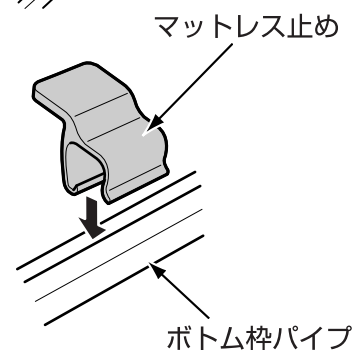
●事故、破損を防ぐために

座ボトムへのマットレス止めは、ベッドへの乗り降りの邪魔になるため、取り付けはおすすめできません。

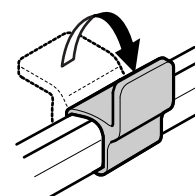
背ボトムには取り付けないでください。ギャッチ機構により上下しますので、サイドレール、回転式アーム介助バーと接触し危険です。



- 1 マットレス止めをボトム
枠パイプに差し込む



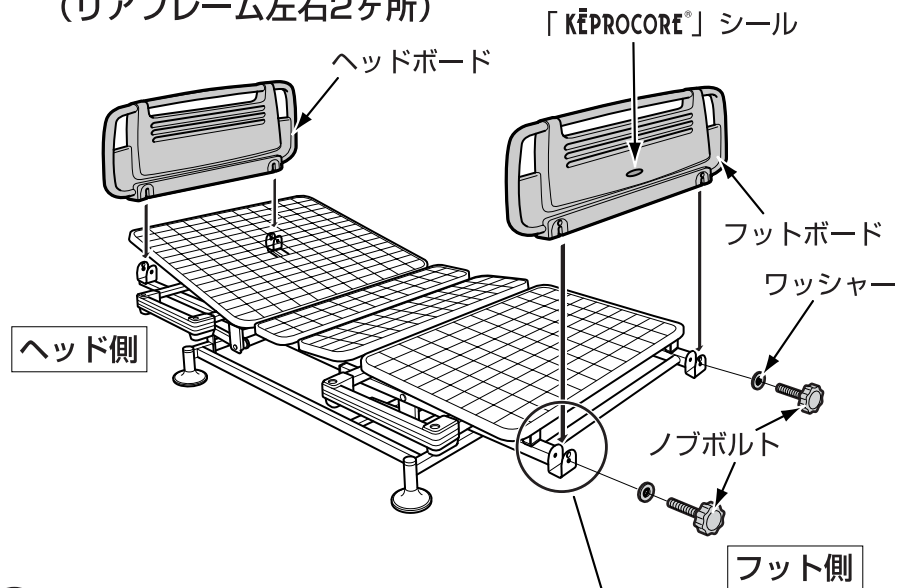
- 2 取り付けしたマットレス止め
を矢印方向に回転させ、ボ
トム枠パイプに固定する



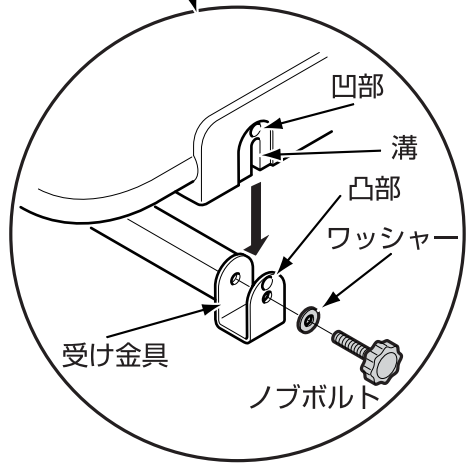
11.ヘッドボード・フットボードを取り付ける

●ヘッドボード・フットボードの取り付けかた

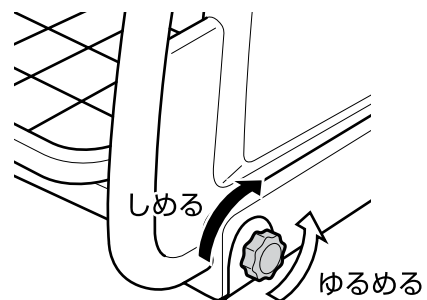
- 1 フロント・リアフレームのノブボルトとワッシャーをボード受け金具にねじ込む
(フロントフレーム左右2ヶ所)
(リアフレーム左右2ヶ所)



- 2 フロント・リアフレームのボード受け金具にヘッド・フットボードをはめ込む
この時、ヘッド・フットボードの溝がノブボルトのネジにはまり込むようにする
(フット側のボードは、KEPROCORE®のシールがある方です)



- 3 ノブボルトをヘッド・フットボードが外れないようにしめる
(フロントフレーム 左右2ヶ所)
(リアフレーム 左右2ヶ所)



お願い

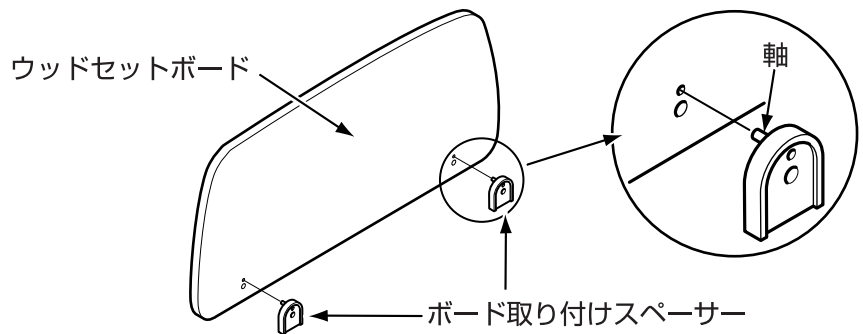
事故、破損の原因となります。
ボード溝部の凹と金具の凸部にしっかり入ったか、確認してください。

ベッドの組み立てかた

11.ヘッドボード・フットボードを取り付ける

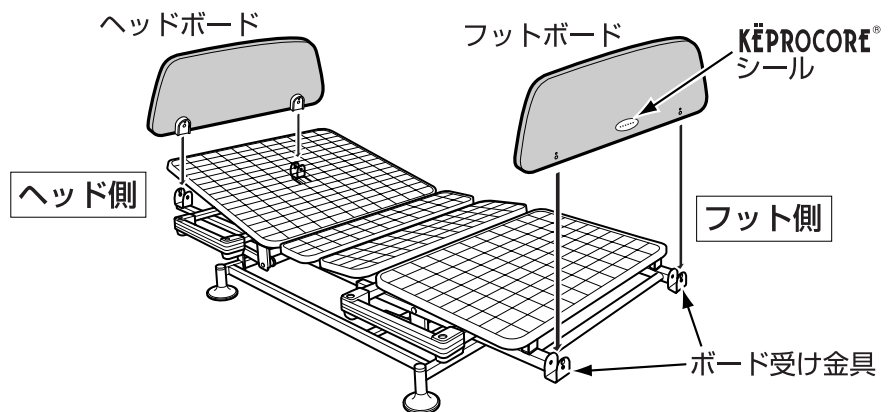
●ウッドセットの取り付け

- 1** ウッドセットボードにボード取り付けスペーサーをボード上側の穴にボード取り付けスペーサーの軸を差し込み取り付ける(各2個)
フット側のボードは、KEPROCORE®のシールがある方で、シールとは反対側にボード取り付けスペーサーを差し込む。



- 2** ボード取り付けスペーサーを取り付けたウッドセットボードをフロント・リアフレームのボード受け金具に差し込む
ボード取り付けスペーサーがベッド内側に向くように取り付ける

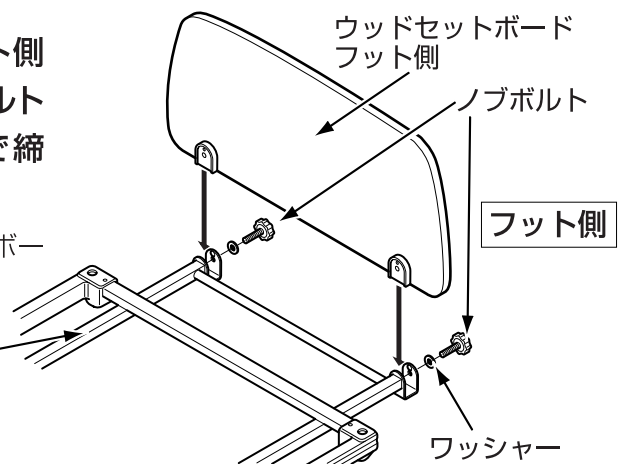
(フット側のボードは、KEPROCORE®シールがある方です)



- 3** ヘッド側、フット側ともにノブボルトとワッシャーで締め付ける

※右図はフット側ボードの取り付け

リアフレーム



お願い

事故、破損の原因となります。
ボードはしっかり最後まで差し込んでノブボルトでしっかりと締め付けてください。

組み立て後の点検

ベッドの組立が終了したら、以下の項目にそって点検してください。



●事故、破損を防ぐために

手元スイッチで操作しながら点検をしている際に、異常音や振動が生じた場合は、すぐにベッドの使用をやめて、当社か販売店にご連絡ください。

点検項目

参照
ページ

チェック

1	マザーユニットの取り付け	p.16	
	①マザーユニットはハイローベースユニットに確実にのっていますか？		
	②マザーユニットとハイローベースユニットのヘッド側シールの向きは合っていますか？		
	③ピンAとスピードピンは確実に差し込まれていますか？		
2	モーターの取り付け	p.17	
	①ピンBとスピードピンは確実に差し込まれていますか？		
	②ハイロー固定バンドはハイローモーターから外されていますか？		
3	座ボトム取り付け	p.19	
	①ピンCとスピードピンは確実に差し込まれていますか？		
4	背ボトムを取り付け	p.20	
	①背ボトムの止めフックがボトム受けフレームの固定穴に確実に差し込まれていますか？		
	②ピンCとスピードピンは確実に差し込まれていますか？		
5	フロントフレームを取り付け	p.21	
	①フロントフレームはマザーユニットに確実に取り付けられていますか？		
	②ピンCとスピードピンは確実に差し込まれていますか？		
6	膝ボトム・脚ボトムを取り付け	p.22	
	①膝ボトムの止めフックがボトム受けフレームの固定穴に確実に差し込まれていますか？		
	②ピンCとスピードピンは確実に差し込まれていますか？		
7	リアフレームを取り付け	p.23	
	①リアフレームはマザーユニットに確実に取り付けられていますか？		
	②ピンCとスピードピンは確実に差し込まれていますか？		
8	電源(ベッドと手元スイッチ)について	p.18	
	①ベッドの電源プラグをコンセントに差し込んでください。 このとき、電源ボックスのランプは点灯していますか？		
	②ベッドの電源プラグをコンセントに差し込んでください。 このとき、手元スイッチのボタンを押すとランプは点灯しますか？		
9	操作(動作時)について	p.10 }	
	①手元スイッチのボタンを押してあたま、あし(後付けモーターセット装着時、830)、たかさがスムーズに作動しますか？		
	②モーターから異常音がしませんか？	p.13	
	③手元スイッチのボタンを押して背ボトムを上げた際に、周囲の家具などに当たりませんか？	p.18	
④手元スイッチのボタンを押して高さを昇降させた際に、周囲の家具などに当たりませんか？			

以上の項目を点検しても異常がある場合には、電源プラグをコンセントから抜き販売店にご連絡ください。

マットレスの使用法

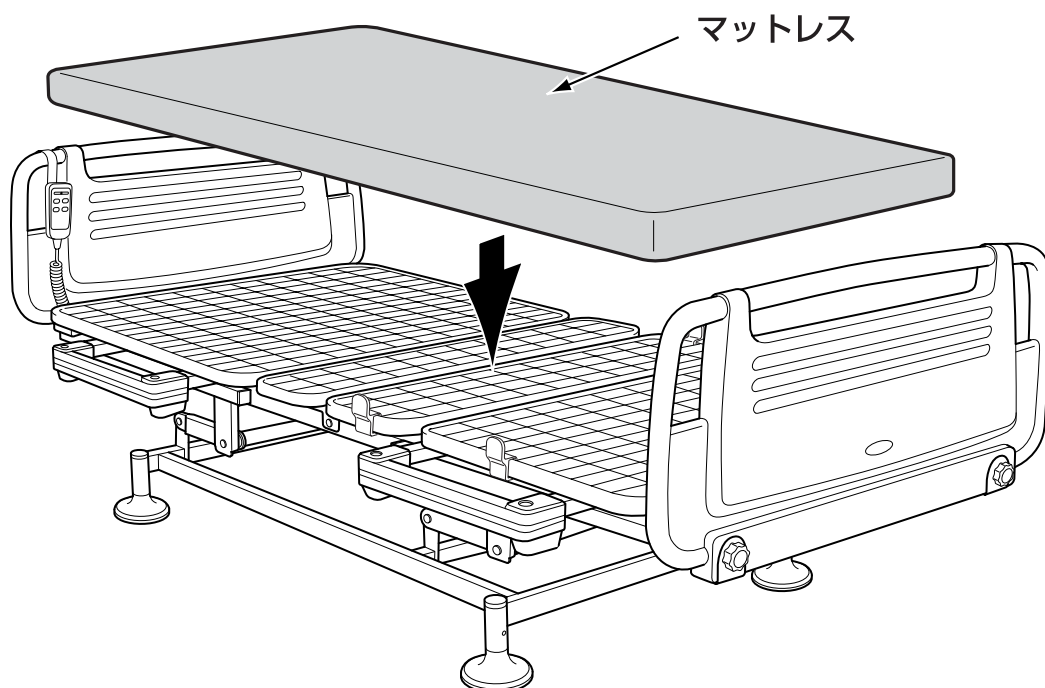


●ベッドの性能を最大限いかすため、必ず守ってください。

※このベッドには、必ず弊社製品のマットレス（幅・シングル90cm／セミダブル100cm）をお使いください。

※他社のマットレスは、寸法や折れ曲がりの点で適合しないだけでなく、ベッドに負担をかけ故障の原因になります。

※スプリングマットレス、ウォーターマットレスの使用はできません。



適合マットレス

支援用具があれば日常生活が可能な方に適応

MB-2500 ダブルウェーブマットレス（シングル90cm／セミダブル100cm）

MB-2250 ダブルウェーブマットレス・スリム（シングル90cm／セミダブル100cm）

- 腰をかけたとき、手をついたときの沈み込みが少なく、安定性と体圧分散性に優れています。
- 独自のダブルウェーブ構造によりベッドの動きに合わせてしなやかに曲がります。
- 体圧を維持する適度な硬さと長時間の使用にもへたがりありません。
- 通気性・通水性があるので、カビや雑菌などが繁殖しにくく、清潔さを保てます。
- 上下・裏表の区別はありません。マットレスの厚さはMB-2500が8cm、MB-2250は5.5cm。

起き上がりや立ち上がりなどの基本動作に人的支援が必要な方に適応

K-160 ソフトウェーブマットレス（シングル90cm／セミダブル100cm）

- 関節などに痛みがあり、硬いマットレスでは寝返りできない方に適応します。
- プロファイル加工により、身体との接触面が小さく身体の部位ごとの圧迫を軽減します。
- マットレス全面に90ヶ所（背中、押しリブに集中）の通気孔があり、ムレや湿気を緩和します。

生体動作全体で人的支援が必要な方に適応

K-155 ソフトウェーブEXマットレス（シングル90cm／セミダブル100cm）

- 優れた通気性・通水性と超体圧分散性を実現する、特殊低反発2層構造の理想的な介護用マットレス。
- プロファイル加工により、身体との接触面が小さく身体の部位ごとの圧迫を軽減します。
- 通気性・通水性に優れた特殊ウレタンフォームの採用により、水洗いが可能です。
- ベッドからの立ち上がりや端座位をとったときに、マットレスの縁が崩れないように外周部に硬いめのウレタンフォームを使用しています。

オプションの取り付けかた



●ベッドの性能を最大限いかすため、必ず守ってください。

※このベッドには、必ず弊社製品のサイドレール、回転式アーム介助バーK-25N／26N、オーバーテーブルK-135／135Lをお使いください。

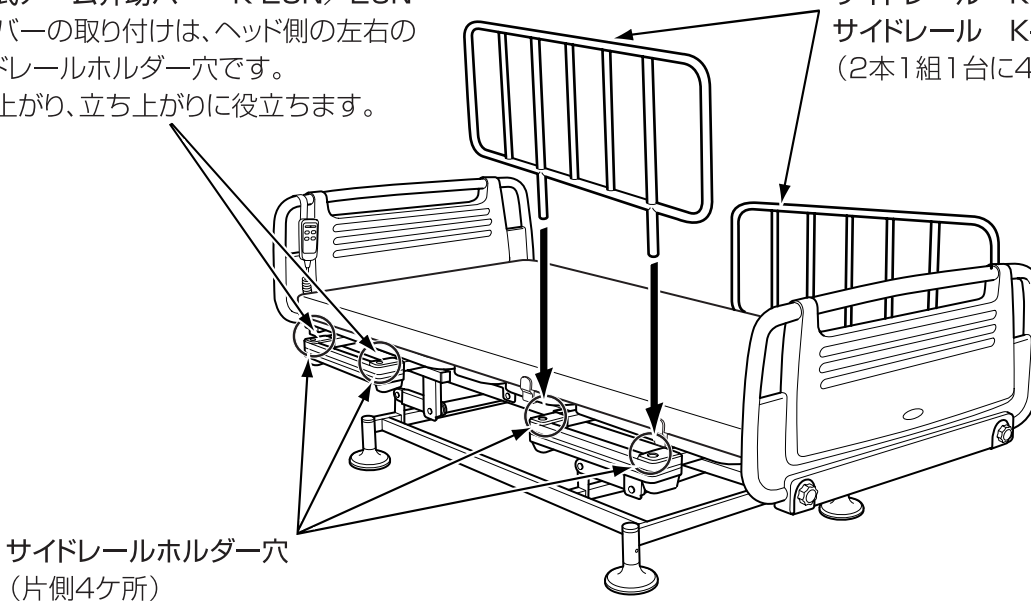
他社の製品は、寸法などが適合しないだけでなく、ベッドに負担をかけ故障の原因になります。

●サイドレール、介助バーを取り付ける

ベッド両側のサイドレールホルダー穴を利用して、サイドレール、回転式アーム介助バーが使用できます。

回転式アーム介助バー K-25N／26N
介助バーの取り付けは、ヘッド側の左右のサイドレールホルダー穴です。
起き上がり、立ち上がりに役立ちます。

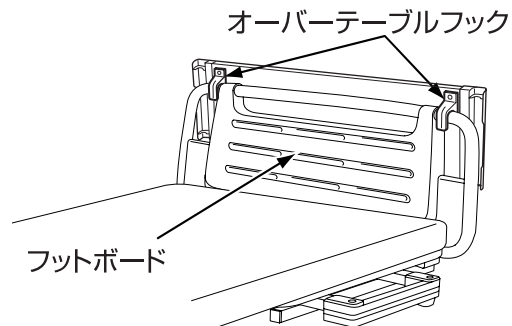
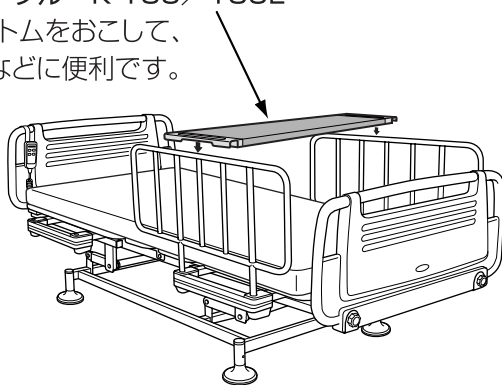
サイドレール K-121
サイドレール K-120
(2本1組1台に4本まで使用できます)



●オーバーテーブルを取り付ける

オーバーテーブル K-135／135L
ベッドの背ボトムをおこして、
読書や食事などに便利です。

お使いにならない場合は、フットボードに掛けておくことができます。



●事故、破損の原因となります。

※ベッドの背ボトムを上げたときに、身体とオーバーテーブルの間隔が適度に保てるように設置してください。

※オーバーテーブルの耐荷重は15kgです。これ以上重たいものはのせないでください。

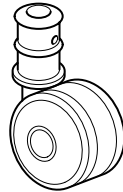
※オーバーテーブルに熱いお茶など高温な物は置かないでください。

オプションの取り付けかた

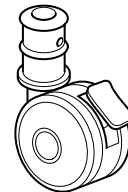
●キャスター (K-125) を取り付ける

キャスターはストッパー付きと無しの2種類があります。

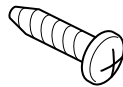
●キャスター
ストッパー無し (2個)



●キャスター
ストッパー付き (2個)



●ネジ (4本)



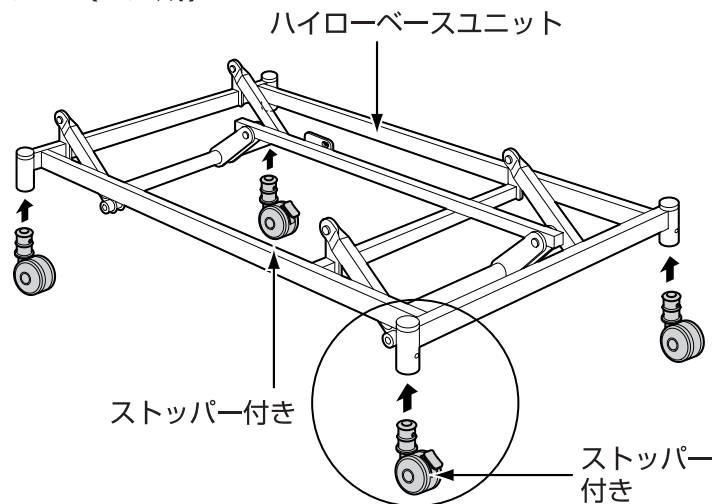
●スプリングワッシャー (4本)



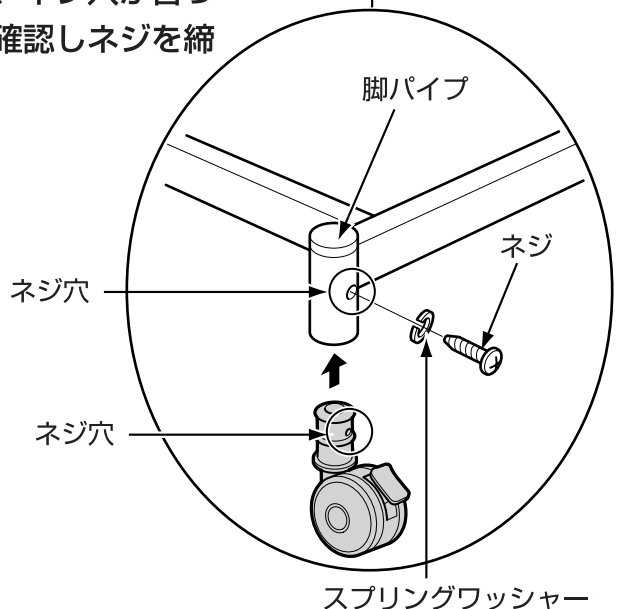
お願い

事故、破損の原因となります。
両方のネジ穴を合わせてからネジで取り付け
てください。

1 ストッパー付きと無しのキャスターが対角になるように
取り付ける (4ヶ所)



2 脚パイプにキャスターを
差し込み、ネジ穴が合っ
ているか確認しネジを締
める



緊急時の背下げの操作

ケプロコア-820R／830は、背ボトムが上がっている状態で、停電などの緊急時に背ボトムが下げられなくなった場合に手で背ボトムを下げるすることができます。



●事故、破損を防ぐために

危険防止のため、お二人で作業されることをお勧めします。

スピードピンを外す際にはラジオペンチやプライヤーを使用してください。

1.背下げの方法

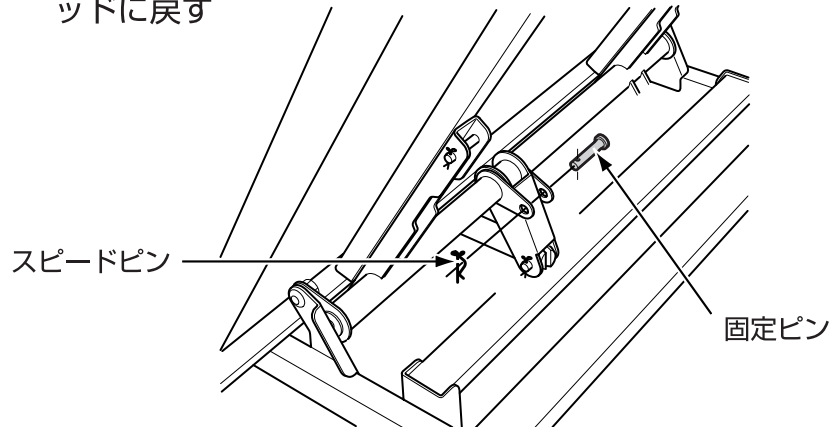
お願い

事故、破損の原因となります。
荷重がすべて背ボトムにかかりますので危険です。必ず手で支えてください。

ポイント

外した固定ピン、スピードピンは背ボトムをもとにもどす際に使用します。
紛失しないように保管してください。

- ① 電源プラグをコンセントから抜く
- ② 療養されている方と寝具をベッドから降ろす
- ③ 作業をしやすくするため、ヘッドボードをはずす
- ④ 背ボトムが下に下がらないよう手で支える
- ⑤ 固定ピンとスピードピンを取り外す
- ⑥ 背ボトムを手で支えながら降ろす
- ⑦ ヘッドボードを取り付け、寝具、療養されている方をベッドに戻す



2.もどし方

停電によって、電力が回復したら以下の手順でベッドをもとの状態に戻してください。

お願い

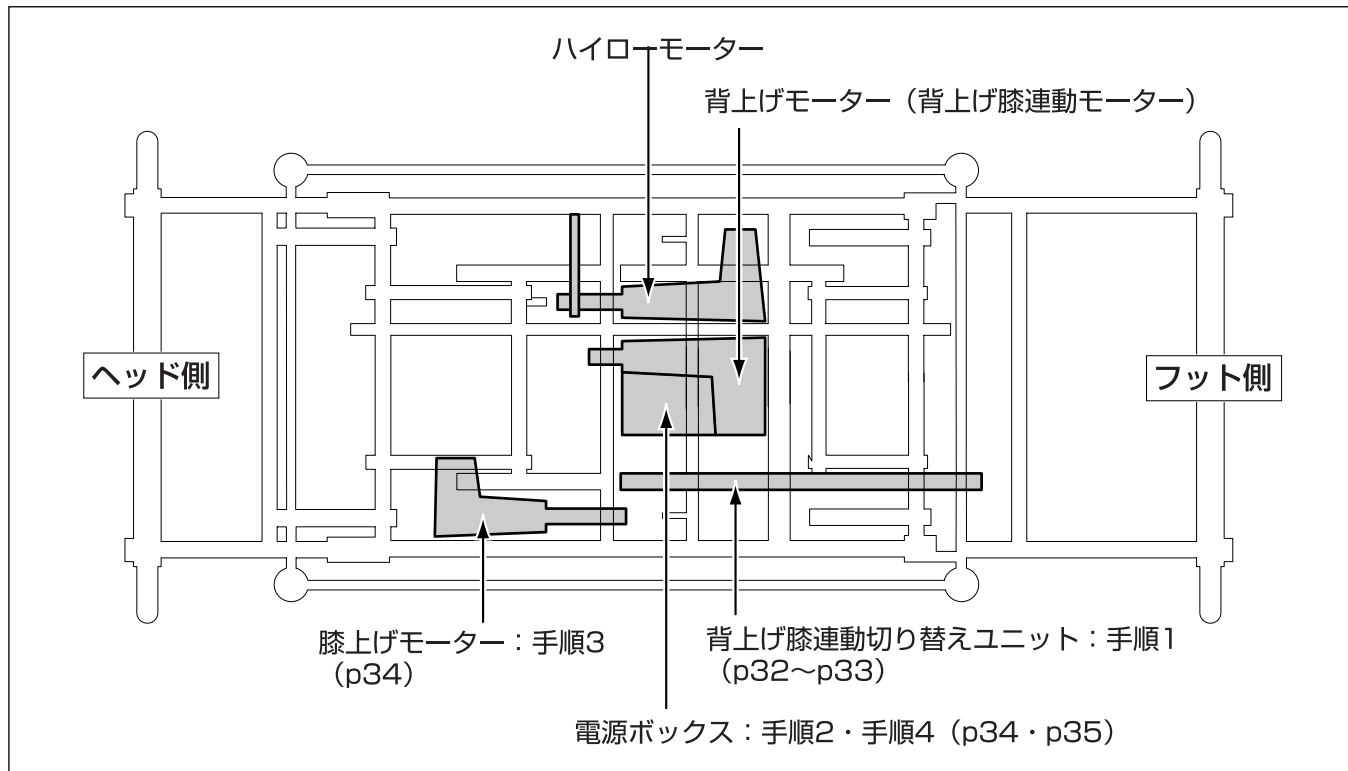
事故、破損の原因となります。
荷重がすべて背ボトムにかかりますので危険です。必ず手で支えてください。

- ① 電源プラグをコンセントから抜く
- ② 療養されている方と寝具をベッドから降ろす
- ③ 作業をしやすくするため、ヘッドボードをはずす
- ④ 背ボトムを手で支え上に上げる
- ⑤ 固定ピンとスピードピンを取り付ける
- ⑥ 背ボトムを手で支えながら降ろす
- ⑦ ヘッドボードを取り付け、寝具、療養されている方をベッドに戻す

後付けモーターセット（オプション）

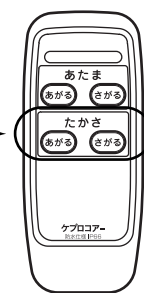
『ケプロコア-820R』 ベッドは、後付けモーターセット（オプション）を取り付けることにより3モーターベッドに変換できます。

●位置関係図（ベッドを上から見たイラストです。）



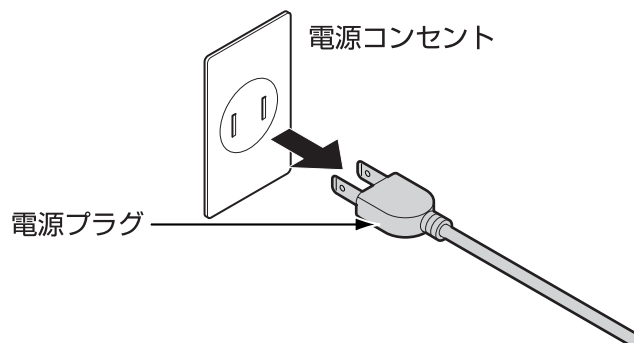
1. 背上げ膝連動切り替えユニットを取り外す

- 1 手元スイッチの「たかさ」のボタンを押してベッドの高さを最高位置まで上げる
「あたま」のボタンを押して背ボトムを完全に下げてください
「たかさ」ボタン



手元スイッチ

- 2 電源プラグをコンセントから抜く



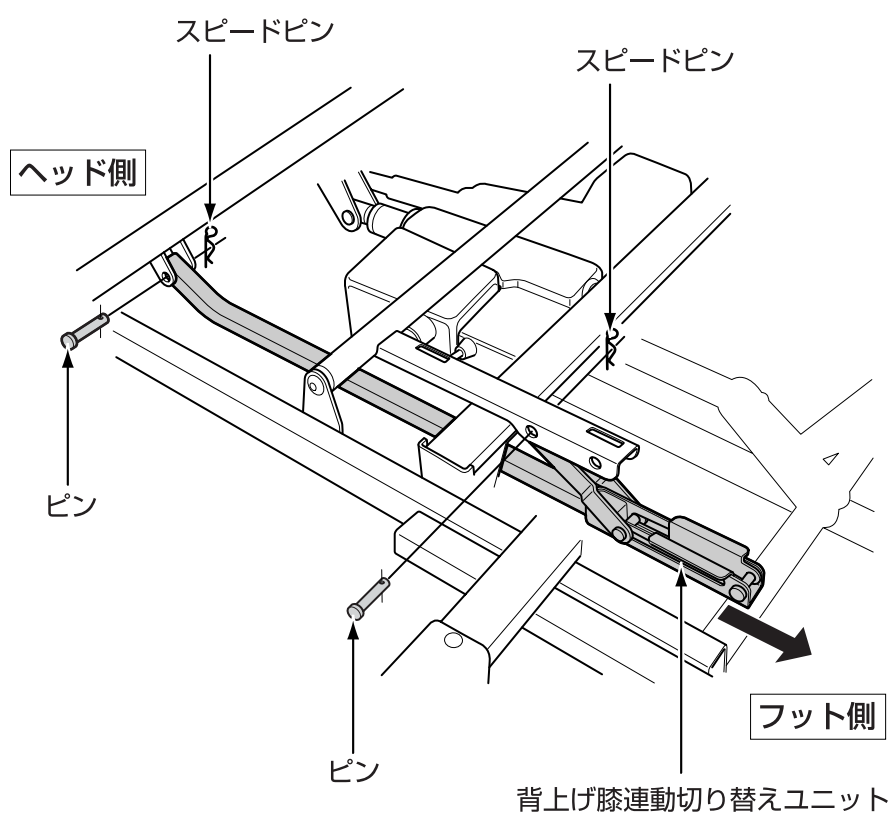
お願い

事故、破損の原因となります。
必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

の取り付けかた

- ③ 取り付けのページを参考にして、座ボトムと膝ボトム・脚ボトムを取り外す（下記参照）
- 座ボトムの取り外し
「5.座ボトムを取り付ける」（p19）を参照
 - 膝ボトム・脚ボトムの取り外し
「8.膝ボトム・脚ボトムを取り付ける」（p22）を参照

- ④ ピンとスピードピンを取り外す（下記参照）
- ※スピードピンはラジオペンチなどで取り外してください。



- ⑤ 背上げ膝連動切り替えユニットを矢印方向（フット側）に引き抜く（上図参照）

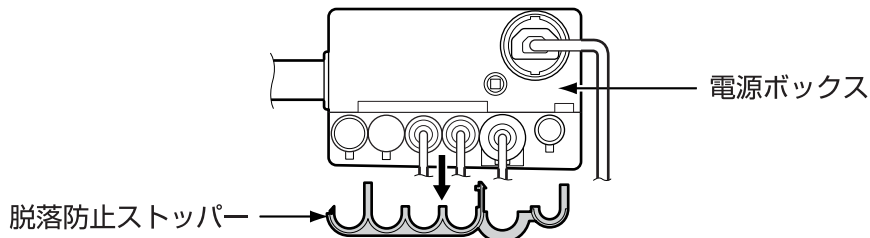
後付けモーターセット (オプション)

2.電源ボックスのコードを取り外す

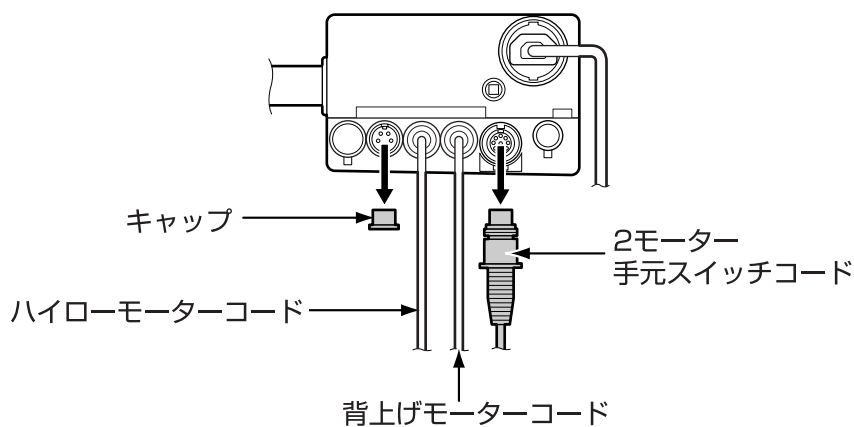
お願い

事故、感電の原因となります。
電源コードのプラグをコンセントから必ず抜いて作業を行ってください。

① 脱落防止ストッパーを取り外す



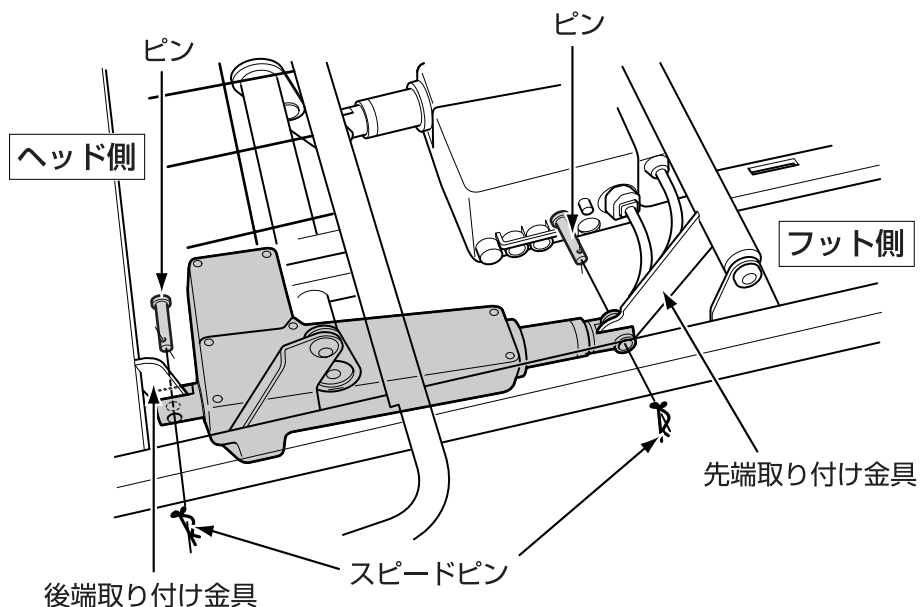
② 2モーター手元スイッチコードとキャップを取り外す



3.膝上げモーターを取り付ける

① 膝上げモーターの先端がフット側に向くよう、先端取り付け金具に付属のピンとスピードピンを取り付ける

② 膝上げモーターの後端と、後端取り付け金具に、付属のピンとスピードピンを取り付ける

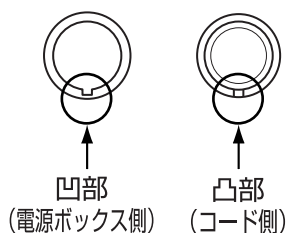


の取り付けかた

4.電源ボックスへコードを取り付ける

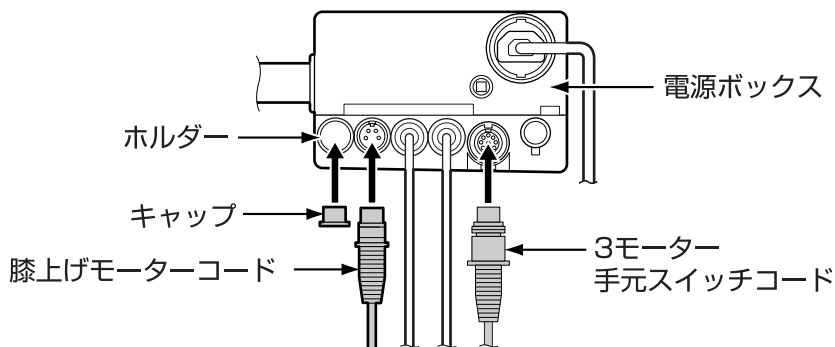
お願い

手元スイッチとモーターコードを差し込むときは、凸部と凹部を合わせて差し込んでください。

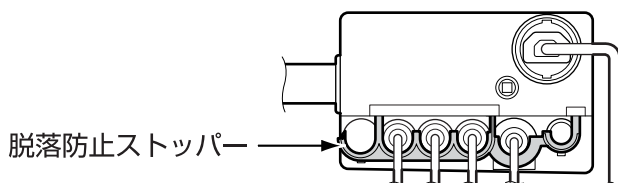


① コード類を電源ボックスに取り付ける

- ※3モーター手元スイッチコード
- ※膝上げモーターコード
- ※外しておいたキャップをなくさないよう、左端のホルダーにはめる



② 脱落防止ストッパーを取り付ける

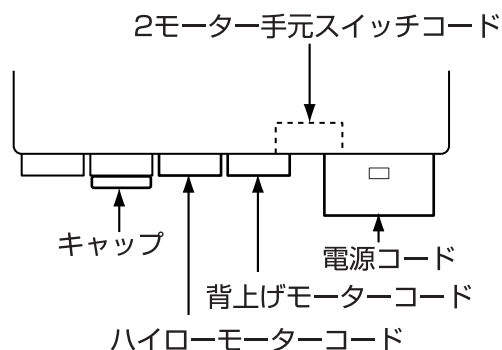


③ ベッドの操作を確認する

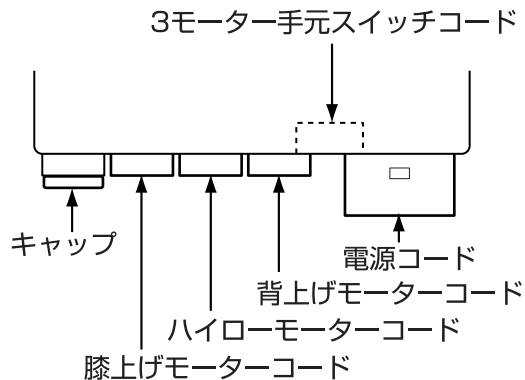
「4.ベッドの動作を確認する」(p18)を参照

●コード類の差込位置 (電源ボックスを上から見たイラストです。)

●2モーターのコード配線



●3モーターのコード配線



●2モーターはキャップを必ず取り付けてください。

3モーターから2モーターへ交換する場合は、電源ボックスに備え付けられていたキャップを必ず「膝上げモーターコード」の取り付け口に取り付けてください。

日常のお手入れ

- ① お手入れの前に必ず電源プラグをコンセントから抜く
- ② 柔らかい布を水で薄めた中性洗剤に浸し、よく絞ってから拭く
- ③ 乾いた柔らかい布で拭き取る



感電注意

ベッドに直接水をかけないでください。
ショート、感電、錆や故障の原因となります。



警告

必ず水で薄めた中性洗剤を使ってください。
揮発性のもの（シンナー、ベンジン、アルコール、アセトン）などは絶対に使用しないでください。
本体が変色したり、塗装がはがれたりします。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、以下の項目をチェックしてください。

症状	チェック	処 理	参照先
電源ボックスのランプが消えている。	電源プラグはコンセントに差し込まれていますか？	電源プラグをコンセントに差し込んでください。	p18
	コンセントに電源（電流が流れている）はきていますか？	コンセントに他の電気器具のプラグを差し込んで確認してみてください。	—
手元スイッチのランプが消えている。	電源プラグはコンセントに差し込まれていますか？	電源プラグをコンセントに差し込んでください。	p18
	コンセントに電源（電流が流れている）はきていますか？	コンセントに他の電気器具のプラグを差し込んで確認してみてください。	—
	手元スイッチコードが電源ボックスから外れていませんか？	手元スイッチコードを電源ボックスに差し込んでください。	p35
	長時間連続で操作していませんか？	20～30分後に操作してください。	p10
ボトム、ベッドの高さが上がらない。	ベッド周辺、可動部に障害物がありますか？	障害物を取り除いてください。	—

それでも直らない場合は、ベッドの使用を中止して電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。

保管と移動

●保管について

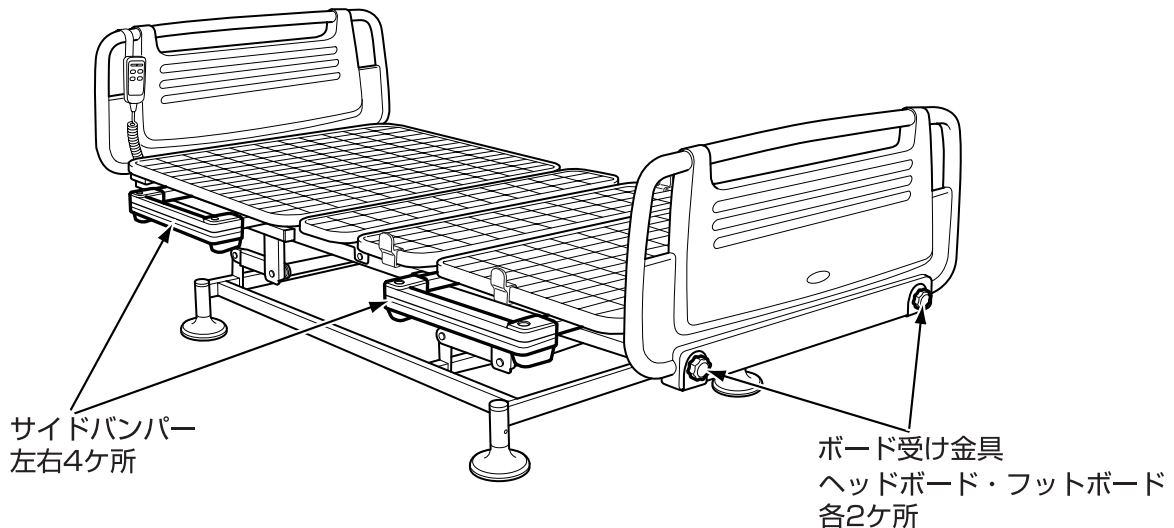
組み立てが終わった状態で保管する場合

- ※高温、多湿、ほこりの多い場所は避けてください。
- ※『あたま』『あし』『たかさ』は手元スイッチで操作して最低位置まで下げてください。
- ※変形しますので、マットレスの上には物を乗せないでください。
- ※立て掛けたり、横倒しにしないでください。
- ※取扱説明書は大切に保管してください。
- ※お使いになる場合には、『組み立て後の点検』（p27）に従って点検してください。

●移動について

組み立てが終わった状態で移動する場合

- ※背中、腰を痛めないように二人以上で運んでください。
- ※ベッドで療養されている方は移動していただき、寝具、マットレス、オプション（回転式アーム介助バー、サイドレールなど）は取り外してください。
- ※移動の際には、ヘッドボード・フットボードの受け金具を両手でしっかり持って行ってください。
- ※危険ですのでヘッドボード・フットボード、サイドバンパーなどは持たないでください。



- ※電源コード、手元スイッチ、電源プラグは、移動の前にある程度たばねてキズなどがつかないようにベッドに固定してください。

●分解して保管または移動する場合

ベッドの分解は販売店にご依頼されることをお勧めします。

仕様

●ベッド本体

	ケプロコア-820R シングル・レギュラー時	ケプロコア-830	材 質	
ベッド全長	209cm		ボード	PE(ポリエチレン)・木製
ベッド床長	195cm		マザーユニット	スチール製 抗菌剤入り粉体塗装仕上げ
ベ ッ ド 幅	98cm		ベースユニット	
ベッド床高	28~63cm		フロント・リアフレーム	
ヘッド部高さ	65~100cm		ボトム	
フット部高さ	59~94cm			
重 量	66kg	67.5kg		

●背上げ

背上げ用アクチュエータ（生活防水仕様 IP54）	
傾 斜 角 度	0~75度
電 源	入力 AC 100V 50/60Hz 出力 DC 24V
消 費 電 力	約30W
昇 降 時 間	約22秒
連続使用時間	約6分
モーター形式	DCモーター 24V

●脚上げ（830／820R後付けモーターセット装着時のみ）

脚上げ用アクチュエータ（生活防水仕様 IP54）	
傾 斜 角 度	0~45度
電 源	入力 AC 100V 50/60Hz 出力 DC 24V
消 費 電 力	約30W
昇 降 時 間	約15秒
連続使用時間	約6分
モーター形式	DCモーター 24V

●高さ調節

高さ調節アクチュエータ（生活防水仕様 IP54）	
昇 降 距 離	約28~65cm（ゆかからボトムまでの高さ）
電 源	入力 AC 100V 50/60Hz 出力 DC 24V
消 費 電 力	約50W
昇 降 時 間	約33秒
連続使用時間	約6分
モーター形式	DCモーター 24V

●ケプロコア-800シリーズ モーターシステムの取得規格

1.  マーク 日本電気用品取締法
2. TÜV RHINLAND ドイツ技術検査協会
3. UL 米国保険業者検査協会
4. BS 英国規格協会
5. SEMKO スウェーデン電気製品安全規格協会
6. DEMKO デンマーク電気製品安全規格協会
7. NEMKO ノルウェー電気製品安全規格協会
8. CEマーク 全ヨーロッパ安全指令

修理・お取り扱いお手入れなどのご相談は、まずお買い上げの販売店、
レンタル取次店へお申し付けください。

【カスタマーサポートお問い合わせ窓口】

無 料 ツーワ

FreeCall

0120-20-1001

10月1日は福祉用具の日



シーホネンス株式会社 ケプロコア営業部

〒537-0001 大阪市東成区深江北3丁目10番17号 TEL (06) 6981-3432

© 2005 SEAHONENCE INC. (シーホネンス株式会社) All Rights Reserved.